

# 日本循環器学会 会告

## Contents

- 1** 第78回日本循環器学会学術集会
  - プレナリーセッション, シンポジウム公募演題募集要項
  - 一般演題応募要領・ホームページ案内
  - Late Breaking Clinical Trials 演題募集要項
  - Late Breaking Cohort Studies 演題募集要項
  - 学会賞応募要領
- 24** 編集委員長からのメッセージ
- 31** 2013年度日本循環器学会留学支援助成募集要項
- 33** 循環器専門医制度
  - 2013年度以降の「循環器専門医」受験申請者・研修施設研修関連施設の指導責任者の方へ
  - 第24回(2013年度)日本循環器学会認定循環器専門医資格認定審査について
  - 専門医認定更新の手続きの流れ
  - 専門医認定更新研修の必修化について
  - その他専門医制度に関する手続き・問い合わせ
- 40** 地方会・関連学会・研究会情報
  - 専門医研修単位認定学会情報
  - 海外学会情報
  - その他の学会開催情報
  - 研究助成
  - その他
- 47** ACLS 講習会情報
- 52** 映像教材販売のご案内
- 62** 和文論文投稿誌「心臓」のご案内
- 63** 事務局からのお知らせ
  - 学会誌 *Circulation Journal* の送本について
  - 『循環器病の診断と治療に関するガイドライン2012』内容の誤りについて
- 66** 登録事項変更届

**2013  
No.3**

# 第78回日本循環器学会学術集会 (JCS2014)

会 期：2014年3月21日(金)～23日(日)

会 長：永井 良三 (自治医科大学)

会 場：東京国際フォーラム, JPタワー, 東京商工会議所(東京都)

メインテーマ：情報爆発とネットワーク時代の循環器病学

Cardiology in the information era: from bench to community

## 1. 美甘レクチャー

Eric N. Olson (UT Southwestern, USA)

## 2. 真下記念講演

谷口 維紹 (東京大学生産技術研究所)

## 3. 特別講演(予定)

Harry Dietz (Johns Hopkins University School of Medicine, Institute of Genetic Medicine, USA)

Kenneth Walsh (Boston University School of Medicine, USA)

Peter Libby (Harvard Medical School, USA)

Christine Seidman (Harvard Medical School, USA)

Stefanie Dimmeler (University of Frankfurt, Germany)

Randall S. Johnson (University of Pennsylvania, USA /Cambridge, UK)

E Dale Abel (University of Utah, USA)

Bryan Williams (University of Leicester, UK)

Damien Garcia (University of Montreal, Canada)

Saibal Kar (Cedars-Sinai Medical Center, USA)

Jun Wang (Beijing Genomics Institute, China)

Michel Komajda (Pitié Salpêtrière Hospital, France)

Gerd Hasenfuss (University of Goettingen, Germany)

Deepak Srivastava (University of California San Francisco, USA)

## 4. 会長講演

永井 良三 (自治医科大学)

## 5. プレナリーセッション

(1) EBMに基づく冠動脈血行再建：PCIとCABGの協調 〈英語〉

座長：平山 篤志 (日本大学循環器内科部門)

(2) 心不全治療の進歩 〈英語〉

座長：磯部 光章 (東京医科歯科大学循環制御内科学)

(3) 循環器領域における再生医療 〈英語〉

座長：福田 恵一 (慶應義塾大学循環器内科)

小室 一成 (大阪大学循環器内科学)

(4) 循環器診療ガイドラインと日本のEBM 〈日本語〉

座長：山崎 力 (東京大学臨床研究支援センター)

木村 一雄 (横浜市立大学附属市民総合医療センター)

(5) ACHDの心不全、不整脈、肺高血圧、突然死の実態と治療 〈英語〉

座長：丹羽公一郎 (聖路加国際病院心血管センター循環器内科)

(6) 糖尿病と循環器疾患 〈日本語〉

座長：代田 浩之 (順天堂大学循環器内科学)

平田 健一 (神戸大学循環器内科学)

- (7) 我が国における低体温療法；蘇生後ケアを循環医の立場で考える 〈英語〉  
座長：長尾 建（駿河台日本大学病院循環器科，蘇生・救急心血管治療）
- (8) 循環器病学のトランスレーショナルリサーチ 〈日本語〉  
座長：砂川 賢二（九州大学循環器内科）  
澤 芳樹（大阪大学心臓血管外科）

## 6. シンポジウム

- (1) 冠循環を見直す：心筋虚血の発生機序から評価まで 〈日本語〉  
座長：下川 宏明（東北大学循環器内科学）  
山岸 正和（金沢大学臓器機能制御学・循環器内科）
- (2) 動脈硬化リスク因子から探る動脈硬化の新しい分子機序 〈英語〉  
座長：倉林 正彦（群馬大学臓器病態内科学）
- (3) J波症候群とその関連疾患 〈英語〉  
座長：新 博次（日本医科大学多摩永山病院循環器内科）
- (4) 致死性心室性不整脈への非薬物治療 〈英語〉  
座長：青沼 和隆（筑波大学循環器内科学）
- (5) 心不全治療の進歩—内科・外科の集学的アプローチ— 〈日本語〉  
座長：筒井 裕之（北海道大学循環病態内科学）  
小野 稔（東京大学心臓外科）
- (6) 心肥大・心不全の新たな分子機序 〈英語〉  
座長：斎藤 能彦（奈良県立医科大学第一内科）
- (7) 高血圧のEBM 〈日本語〉  
座長：檜垣 實男（愛媛大学病態情報内科学）  
光山 勝慶（熊本大学生命科学研究部）
- (8) 画像と機能との融合から病態を把握する 〈日本語〉  
座長：木原 康樹（広島大学循環器内科学）  
安武 正弘（日本医科大学付属病院内科）
- (9) 冠動脈イメージングの最前線 〈日本語〉  
座長：赤阪 隆史（和歌山県立医科大学循環器内科）  
水野 杏一（日本医科大学）
- (10) 脳梗塞予防のための心房細動の予防・治療戦略—UPDATE 〈日本語〉  
座長：林 秀晴（浜松医科大学第三内科）  
磯 博康（大阪大学公衆衛生学）
- (11) 循環器疾患ネットワークとレジストリ 〈日本語〉  
座長：楠岡 英雄（独立行政法人国立病院機構大阪医療センター）  
横山 広行（国立循環器病研究センター心臓血管内科）
- (12) 地域医療と医療経済 〈日本語〉  
座長：湊口 信也（岐阜大学循環器内科）  
田倉 智之（大阪大学医療経済産業政策学）
- (13) ACHD の診療体制の構築：多部門の共同運営と遠隔医療 〈日本語〉  
座長：伊藤 宏（秋田大学循環器内科学・呼吸器内科学）  
白石 公（国立循環器病センター）
- (14) カテーテル治療における女性医師の勤務環境：現状と課題 〈日本語〉  
座長：上田真喜子（大阪市立大学病理病態学）  
本江 純子（府中恵仁会病院心臓血管病センター）
- (15) CKD の治療戦略：循環器医と腎臓内科医の連携 〈英語〉  
座長：野出 孝一（佐賀大学内科学）
- (16) 弁膜症治療ニューパラダイムを迎えて 〈日本語〉  
座長：四津 良平（慶應義塾大学外科心臓血管）  
山本 一博（鳥取大学病態情報内科学）

- (17) 肺高血圧症に期待される新しい治療法 〈日本語〉  
座長：松原 広己 (国立病院機構岡山医療センター循環器科)  
伊藤 正明 (三重大学循環器・腎臓内科学)
- (18) 末梢血管治療における new trend 〈日本語〉  
座長：古森 公浩 (名古屋大学血管外科)  
南都 伸介 (大阪大学先進心血管治療学講座)
- (19) 急性大動脈解離の診断と治療における集学的アプローチ 〈日本語〉  
：内科, 外科共同の「Aorta team」に向けて  
座長：萩野 均 (東京医科大学病院外科学第二講座)  
吉野 秀朗 (杏林大学循環器内科)
- (20) 喫煙と循環器疾患—あらたな禁煙医療への挑戦— 〈日本語〉  
座長：室原 豊明 (名古屋大学循環器内科学)  
朔 啓二郎 (福岡大学心臓・血管内科学)
- (21) IT と循環器診療 〈日本語〉  
座長：伊藤 浩 (岡山大学医歯薬学総合研究科機能制御学(循環器内科))  
橋本 英樹 (東京大学医療経営政策学)
- (22) 網羅的ゲノム研究は循環器病学の臨床をいかに変えたか—遺伝/臨床/疫学情報のリンケージ— 〈英語〉  
座長：北風 政史 (国立循環器病研究センター臨床研究部・心臓血管内科)

#### 7. 会長特別企画(予定)

我が国の地域医療の新展開にむけて  
アジアからのエビデンス  
循環器病ナショナルデータベース  
医療の機能分担と連携  
ゲノム科学の新展開

#### 8. 市民公開講座テーマ(予定)

心臓病とともに生きる

## プレナリーセッション，シンポジウム公募演題募集要項

2013年7月22日(月) 午前9:00～8月21日(水)正午 新規登録締切 (時間厳守)

8月22日(木)正午 修正締切 (時間厳守)

※締切後は演題の登録，修正，削除などの操作は一切できません。

※正午12:00に登録(修正)途中の場合においても，登録(修正)完了できません。必ず正午12:00までに登録完了するよう，予めスケジュールをご確認ください。

※締切直前はホームページへのアクセスが集中し，演題ページの動作が遅くなる場合があります。余裕をもってお早めにご応募頂きますようお願いいたします。

1. 今回のプレナリーセッション，シンポジウムは全セッション公募演題を募集します。応募される方は，本文(タイトル，著者名，所属機関名を除く)260 words 以内(図表を含む場合は170 words 以内)の英文抄録を，学術集会ホームページから演題登録用ページにアクセスして登録してください。
2. 新規演題登録は2013年7月22日(月)午前9:00より開始し，8月21日(水)正午に締め切ります。翌日8月22日(木)正午までは修正・削除が可能です。
3. プレナリーセッション，シンポジウム両セッションを通じて，応募できるのは一人につき1テーマのみです。
4. 演題応募の時点で共同演者を含む全員が本学会会員であり，かつ2013年度会費納入者であることが必要です。入会をご希望の方は，必要な書類を事務局より送付いたしますので，下記までFAX又はホームページのいずれかにて請求してください。なお，入会は，入会申込書の提出と入会金2,000円，および2013年度会費15,000円のお振込みをもって完了します。

(一社)日本循環器学会事務局

〒604-8172 京都市中京区場之町599 CUBE OIKE 8F

FAX: 075-213-1675

E-mail: admin@j-circ.or.jp

ホームページ(<http://www.j-circ.or.jp>)の「ご入会案内」に入会申込書請求の入力フォームがありますのでご利用ください。

5. 日本循環器学会の臨床研究の利益相反(Conflict of Interest, COI と略す)に関する共通指針と細則に基づき，筆頭発表者は，配偶者，一親等の親族，生計を共にする者も含めて，当該演題発表に関して，「臨床研究に関連する企業，法人組織や営利を目的とした団体」との経済的な関係について過去1年間におけるCOI状態の有無を，抄録登録時に自己申告をしてください。また，筆頭発表者は該当するCOI状態について，発表スライドの最初(または演題・発表者などを紹介するスライドの次)に，あるいはポスターの最後に開示が必要となります。
6. 各プレナリーセッション，シンポジウムの座長による要旨(開催要旨)については，6月末までに学術集会ホームページのプログラムページにおいて公開いたします。また，日本循環器学会誌会告4号にも掲載されます。応募される方は，かならずご参照ください。
7. 国内の他学会または学会誌にて既に発表された演題と明らかに同一と会長が認めた演題は，演題採択の前後を問わず，取り消しとします。
8. 異なるカテゴリーで同じ内容の演題が重複登録された場合は，採択演題発表の前後を問わず，いずれの演題も取り消します。
9. プレナリーセッション，シンポジウムの開催要領は原則として下記の通りです(ただし一部の日本語発表セッションを除く)。
  - 1)プレナリーセッション：
    - 招請外国人による講演(state-of-the-art)を行う。その後，招請外国人及び指定または公募通過者の計5名程度による発表。
    - 発表者は各専門領域における各自のデータに加え，現況と将来の方向について講演(オーバービュー)する。
    - 発表は一部日本語発表セッションを除き英語とする(同時通訳をつけます)。
    - 総合討論は行わない。

2) シンポジウム :

- 招請外国人による講演(keynote lecture)を行う。その後、招請外国人及び指定または公募通過者の計5名程度による発表。ただし一部の日本語発表セッションを除く。
  - 各自の最先端の研究について発表し、自由な討論を行う。
  - 発表は一部日本語発表セッションを除き英語とする(同時通訳はつけません)。
10. 演題の取り消しは、会期初日の2ヶ月前(2014/1/21)までに連絡があった場合に限り受理します。以後(2014/1/22~)については、発表業績として取り扱うこととし、取り消しは致しかねます。
11. 申し込み演題の採否結果は、9月11日(水)夕刻までにE-mailでご連絡します。

## ホームページ案内・一般演題応募要領

第78回日本循環器学会学術集会ホームページ <http://www2.convention.co.jp/jcs2014/> を開設致しました。演題応募や学術集会プログラム確認などにご利用ください。本会ホームページからもリンクしております。

### 一般演題応募要領

第78回日本循環器学会学術集会において研究発表を希望する方は、以下の申込要項に従って応募してください。

#### 1. 演題登録サイト

演題登録は第78回日本循環器学会学術集会ホームページからのみ可能です。

<http://www2.convention.co.jp/jcs2014/>

演題登録の方法、注意事項はすべて演題登録用ページ上に掲載されます。ホームページ内に記載されている注意事項を確認のうえ登録してください。

#### 2. 演題登録期間

2013年7月22日(月) 午前9:00～9月25日(水)正午 新規登録締切 (時間厳守)

9月26日(木)正午 修正締切 (時間厳守)

※締切後は演題の登録、修正、削除などの操作は一切できません。

※正午12:00に登録(修正)途中の場合においても、登録(修正)完了できません。必ず正午12:00までに登録完了するよう、予めスケジュールをご確認ください。

※締切直前はホームページへのアクセスが集中し、演題ページの動作が遅くなる場合があります。余裕をもってお早めにご応募頂きますようお願いいたします。

7月22日(月)午前9時から9月25日(水)正午までは新規登録期間です。削除することも可能です。また翌日26日(木)正午の修正締切りまでは演題の修正・削除ができます。締切り後は演題の登録、修正、削除等の操作は一切できません。なお、締切り直前はホームページへのアクセスが集中し、演題ページ動作が遅くなることが予想されますので、余裕をもってお早めにご応募くださるようお願いいたします。

ご使用になるコンピューター環境によってはホームページから登録できない可能性があります(例:ローカルネットへの外部からの侵入を防ぐためにファイアウォールが設定されている場合など)。ホームページから演題登録ができなかった場合でも特別な配慮は致しませんのでご注意ください。

#### 3. 提出様式と発表形式

(1) 一般演題は、英文抄録で募集します。

(2) 抄録本文について

抄録本文(タイトル、著者名、所属機関名を除く)のワード数は220 words以内とします。図表を含むこともできますが、GIFまたはJPEG形式で10Mバイト以下のもの1つに限ります(縦長、横長いずれでも可。約6×4cmに縮小して掲載します)。図表を含む場合には本文のワード数は130 words以内となります。

(3) 演題登録番号およびパスワード

演題を登録する際に、演題登録番号が自動的に割り当てられ、任意のパスワードを決めていただきます。演題登録番号とパスワードにて登録内容を何回でも変更することができます。パスワードの保存とその機密保持に関しては登録者の管理といたします。演題登録番号およびパスワードは登録演題内容の変更のほか、受領確認、採否確認にも必要ですので必ず記録しておいてください。パスワードを紛失した場合でも、セキュリティの関係から問い合わせには一切応じられませんのでご注意ください。

(4) 応募時に、発表言語については「英語」「日本語または英語のどちらでもよい」のどちらかひとつを選択していただきます。

(5) 発表形式についても、口述またはポスターを選択できます。

(6) 一般演題の発表形式は、以下のように分けられます。

- ① Featured Research Session(英語発表希望者抄録のうち比較的高得点の演題から構成する)
- ② 一般口述発表(発表希望言語により日本語または英語セッションに分ける)
- ③ ポスター発表(発表希望言語により日本語または英語セッションに分ける)
- (7) 発表言語は、原則として、応募時の希望通りとします。ただし、発表形式(口述またはポスター)については最終的に学術集会事務局が調整、決定させていただきます。
- (8) なお、受理された抄録の演題名、所属、著者名、抄録本文については、投稿時のデータがそのまま抄録集に掲載されます。登録の際には、ホームページ上の注意事項をよく参照の上、入力してください。
- (9) 筆頭著者、共著者とも会員番号をご入力いただきます。誤った会員番号を入力しますと年会費の請求が生じる場合がありますのでご注意ください。なお、会員番号ご不明の際は、必ず(一社)日本循環器学会事務局までお問い合わせください。
- (10) 抄録集にキーワード別検索のインデックスページを設けますので、正確なキーワードを選択してください。

#### 4. 国内演者の応募資格

演題応募の時点で共同演者を含む全員が本学会会員であり、かつ2013年度会費納入者であることが必要です。入会をご希望の方は、必要な書類を事務局より送付いたしますので、下記までFax又はホームページのいずれかにて請求してください。なお、入会は、入会申込書の提出と入会金2,000円、および2013年度会費15,000円のお振込みをもって完了します。

(一社)日本循環器学会事務局  
〒604-8172 京都市中京区場之町599 CUBE OIKE 8F  
Fax: 075-213-1675  
E-mail: admin@j-circ.or.jp

ホームページ <http://www.j-circ.or.jp> の「ご入会案内」に入会申込書請求の入力フォームがありますのでご利用ください。

#### 5. 臨床研究の利益相反(Conflict of Interest, COI と略す)について

日本循環器学会の臨床研究の利益相反(Conflict of Interest, COI と略す)に関する共通指針と細則に基づき、筆頭発表者は、配偶者、一親等の親族、生計を共にする者も含めて、当該演題発表に関して、「臨床研究に関連する企業、法人組織や営利を目的とした団体」との経済的な関係について過去1年間におけるCOI状態の有無を、抄録登録時に自己申告をしてください。また、筆頭発表者は該当するCOI状態について、発表スライドの最初(または演題・発表者などを紹介するスライドの次)に、あるいはポスターの最後に開示が必要となります。

#### 6. 注意事項

- (1) 同一筆頭演者の演題登録は10題以下とします。11題以上の登録があった場合は全ての登録演題を取り消します。
- (2) 国内の他学会または学会誌にて既に発表された演題と明らかに同一と認めた演題は、演題採択の前後を問わず、取り消しとします。
- (3) 異なるカテゴリで同じ内容の演題が重複登録された場合は、採択演題発表の前後を問わず、いずれの演題も取り消します。
- (4) 演題の取り消しは、会期初日の2ヶ月前(2014/1/21)までに連絡があった場合に限り受理します。以後(2014/1/22~)については、発表業績として取り扱うこととし、取り消しは致しかねます。
- (5) 演題登録に関する問い合わせ  
別便で郵送が必要なものはありません。ホームページによる演題登録に関するお問い合わせは、(一社)日本循環器学会事務局までE-mailまたはFaxにてご連絡ください。

(一社)日本循環器学会事務局  
担当：新井・西口・山下  
E-mail: meeting@j-circ.or.jp  
Tel: 075-257-5830 Fax: 075-213-1675

**7. 演題受領通知および演題採否通知**

演題受領通知, 並びに演題採否通知のはがきは送付いたしません. 演題受領の有無は学会ホームページの演題登録画面にて, 演題登録番号, パスワードを入力してご確認ください. ただし, 演題登録時に E-mail アドレスを入力された方には E-mail でも受領通知が届きます. 採択された演題は, 2013年11月29日(金)正午に登録番号, 採択演題名, 筆頭演者名をホームページでカテゴリー別に掲示しますので, 各自ご確認ください.

**8. 演題の採否決定**

申込演題の採否は会長が委嘱する査読者の採点に基づいて会長が決定します.

## Late Breaking Clinical Trials 演題募集要項

### 1. 演題応募方法

第78回日本循環器学会学術集会では、セッション「Late Breaking Clinical Trials」(公募・一部指定)を開催いたします。演題応募される方は、第78回日本循環器学会学術集会ホームページ(<http://www2.convention.co.jp/jcs2014/>)から演題登録用ページにアクセスして登録してください。

### 2. 演題募集期間

**2013年9月9日(月)午前9:00~10月30日(水)正午 必着(時間厳守)**

※締切後は演題の登録、修正、削除などの操作は一切できません。

※正午12:00に登録(修正)途中の場合においても、登録(修正)完了できません。必ず正午12:00までに登録完了するよう、予めスケジュールをご確認ください。

※締切直前はホームページへのアクセスが集中し、演題ページの動作が遅くなる場合があります。余裕をもってお早めにご応募頂きますようお願いいたします。

### 3. 応募内容

ここでいう Clinical Trial とは、ヒトを対象とする医学研究で、予防、診断または治療法に関する介入試験を指します。医薬品又は医療機器を用いた介入が主体ですが、それ以外の食事・運動・リハビリ等による介入も含むことにいたします。例として、薬剤を用いたランダム化比較試験などが挙げられます。介入のない前向き観察研究は、Cohort Study で扱います。

応募内容は、本学会で初めて結果を公表されるもので、かつ他の学会に発表または応募をされていない Clinical Trial を最優先いたします。ただし、既に発表されたものであっても、本学会で改めて発表を希望される Trial につきましても採択を考慮いたしますので、奮ってご応募ください。

### 4. 抄録内容

抄録の内容は、今回初めて発表される場合は、背景、目的、方法、デザイン等のみで結構です。結果や結論は記載する必要はありません。

### 5. 提出様式

英文抄録を募集します。抄録本文(タイトル、著者名、所属機関名を除く)のワード数は260 words 以内、タイトルのワード数は20 words 以内とします。図表を含むこともできますが、GIF または JPEG 形式で10 M バイト以下のもの1つに限ります(縦長、横長いずれでも可。約6×4cm に縮小して掲載します)。図表を含む場合には本文のワード数は170 words 以内とします。なお、受理された抄録の演題名、所属、著者名、抄録本文については、投稿時のデータがそのまま抄録集に掲載されます。登録の際には、演題登録ページ中の注意事項をよくご参照の上、入力してください。

### 6. 応募資格・条件

演題応募の時点で抄録に記載される演者ならびに共同演者は本学会会員であり、かつ2013年度会費納入者であることが必要です。ただし、臨床試験実施参加者は必ずしも会員である必要はありません。入会をご希望の方は、必要な書類を事務局より送付いたしますので、下記まで Fax 又はホームページのいずれかにて請求してください。なお、入会は、入会申込書の提出と入会金2,000円、および2013年度会費15,000円のお振込みをもって完了します。

(一社)日本循環器学会事務局  
〒604-8172 京都市中京区場之町599 CUBE OIKE 8F  
Fax: 076-213-1676  
E-mail: [admin@j-circ.or.jp](mailto:admin@j-circ.or.jp)

また、採択演題の中から編集委員会の選考を経た数件の研究に対して、Circulation Journal への論文投稿を依頼することとなります。Late Breaking Clinical Trials の演題応募に際しては、抄録が編集委員会の選考資料となることにご同意いただいたものとさせていただきますので、ご了承ください。なお Circulation Journal への投稿は任意であり、ご辞退されても演題採択結果には影響いたしません。

#### 7. 臨床研究の利益相反 (Conflict of Interest, COI と略す) について

日本循環器学会の臨床研究の利益相反 (Conflict of Interest, COI と略す) に関する共通指針と細則に基づき、筆頭発表者は、配偶者、一親等の親族、生計を共にする者も含めて、当該演題発表に関して、「臨床研究に関連する企業、法人組織や営利を目的とした団体」との経済的な関係について過去 1 年間における COI 状態の有無を、抄録登録時に自己申告をしてください。また、筆頭発表者は該当する COI 状態について、発表スライドの最初(または演題・発表者などを紹介するスライドの次)に、あるいはポスターの最後に開示が必要となります。

#### 8. 採否通知

採択演題は12月中旬に E-mail にてご連絡いたします。

#### 9. 開催要領および発表形式

開催要領・発表形式は後日発表いたします。

#### 10. その他

- 演者・共同演者は COI には十分ご注意ください。
- 演題の取り消しは、会期初日の 2 ヶ月前 (2014/1/21) までに連絡があった場合に限り受理します。以後 (2014/1/22～) については、発表業績として取り扱うこととし、取り消しは致しかねます。

## Late Breaking Cohort Studies 演題募集要項

### 1. 演題応募方法

第78回日本循環器学会学術集会では、セッション「Late Breaking Cohort Studies」を開催いたします。演題応募される方は、第78回日本循環器学会学術集会ホームページ(<http://www2.convention.co.jp/jcs2014/>)から演題登録用ページにアクセスして登録してください。

### 2. 演題募集期間

**2013年9月9日(月)午前9:00～10月30日(水)正午 必着(時間厳守)**

※締切後は演題の登録、修正、削除などの操作は一切できません。

※正午12:00に登録(修正)途中の場合においても、登録(修正)完了できません。必ず正午12:00までに登録完了するよう、予めスケジュールをご確認ください。

※締切直前はホームページへのアクセスが集中し、演題ページの動作が遅くなる場合があります。余裕をもってお早めにご応募頂きますようお願いいたします。

### 3. 応募内容

ここでいう Cohort Study とは、前向き疫学研究を指します。地域や職域集団を追跡する研究のみだけでなく、医療機関において特定の疾患群や治療群をレジストリ登録し、イベントの発生とその要因の関係を前向きに調べる観察研究もここで扱うことにいたします。

応募内容は、本学会で初めて結果を公表されるもので、かつ他の学会に発表または応募をされていない Cohort Study を最優先いたします。ただし、既に発表されたものであっても、本学会で改めて発表を希望される Study につきましても採択を考慮いたしますので、奮ってご応募ください。

### 4. 抄録内容

抄録の内容は、今回初めて発表される場合は、背景、目的、方法デザイン等のみで結構です。結果や結論は記載する必要はありません。

### 5. 提出様式

英文抄録を募集します。抄録本文(タイトル、著者名、所属機関名を除く)のワード数は260 words 以内、タイトルのワード数は20 words 以内とします。図表を含むこともできますが、GIF または JPEG 形式で10 M バイト以下のもの1つに限ります(縦長、横長いずれでも可。約6×4cm に縮小して掲載します)。図表を含む場合には本文のワード数は170 words 以内とします。なお、受理された抄録の演題名、所属、著者名、抄録本文については、投稿時のデータがそのまま抄録集に掲載されます。登録の際には、演題登録ページ中の注意事項をよくご参照の上、入力してください。

### 6. 応募資格・条件

演題応募の時点で抄録に記載される演者ならびに共同演者は本学会会員であり、かつ2013年度会費納入者であることが必要です。ただし、臨床試験実施参加者は必ずしも会員である必要はありません。入会をご希望の方は、必要な書類を事務局より送付いたしますので、下記まで Fax 又はホームページのいずれかにて請求してください。なお、入会は、入会申込書の提出と入会金2,000円、および2013年度会費15,000円のお振込みをもって完了します。

(一社)日本循環器学会事務局  
〒604-8172 京都市中京区場之町599 CUBE OIKE 8F  
Fax: 076-213-1676  
E-mail: admin@j-circ.or.jp

また、採択演題の中から編集委員会の選考を経た数件の研究に対して、Circulation Journal への論文投稿

を依頼することとなります。Late Breaking Cohort Studies の演題応募に際しては、抄録が編集委員会の選考資料となることにご同意いただいたものとさせていただきますので、ご了承ください。なお Circulation Journal への投稿は任意であり、ご辞退されても演題採択結果には影響いたしません。

#### 7. 臨床研究の利益相反 (Conflict of Interest, COI と略す) について

日本循環器学会の臨床研究の利益相反 (Conflict of Interest, COI と略す) に関する共通指針と細則に基づき、筆頭発表者は、配偶者、一親等の親族、生計を共にする者も含めて、当該演題発表に関して、「臨床研究に関連する企業、法人組織や営利を目的とした団体」との経済的な関係について過去1年間における COI 状態の有無を、抄録登録時に自己申告をしてください。また、筆頭発表者は該当する COI 状態について、発表スライドの最初(または演題・発表者などを紹介するスライドの次)に、あるいはポスターの最後に開示が必要となります。

#### 8. 採否通知

採択演題は12月中旬に E-mail にてご連絡いたします。

#### 9. 開催要領および発表形式

開催要領・発表形式は後日発表いたします。

#### 10. その他

- 演者・共同演者は Conflict of Interests には十分ご注意ください。
- 演題の取り消しは、会期初日の2ヶ月前(2014/1/21)までに連絡があった場合に限り受理します。以後(2014/1/22～)については、発表業績として取り扱うとし、取り消しは致しかねます。

## 学会賞応募要領

### 日本心臓財団佐藤賞募集要領

#### ●趣 旨

国民死因の首位を占める心臓血管病の制圧を目指す財団法人日本心臓財団では、わが国の心臓病学の発展を願い、日本循環器学会の協力を得て、昭和49年5月に逝去された故佐藤喜一郎初代会長を追悼記念する「日本心臓財団 佐藤賞」を設け、斯学の発展に寄与する。

#### ●対 象

本賞は、近年日本において循環器領域で顕著な業績を上げ、今後もこの分野で中心的な役割を果たすことが期待される研究者1名に対し授与する。

#### ●応募資格

1. 近年(過去5年間)において、その一連の研究成果が顕著であったことが研究論文等の業績において明らかであり、循環器学に対するこれまでの貢献が顕著と認められる者。
2. 申請時において、継続して7年以上会費を完納した日本循環器学会会員である者。
3. 2014年3月31日現在において50歳未満であり、今後、循環器領域で指導的立場を担う研究者である者。
4. 当会が募集する他の学会賞への応募と重複しないこと。  
(内容が完全に異なる場合は、複数の学会賞への応募可能。一連の研究の一部を分割した場合、サブ解析は同論文と捉え、複数の学会賞への応募はできない。)
5. 未受賞の論文(研究)のみを対象とする。国内外問わず一度受賞した論文(研究)は応募できない。
6. 応募は1施設(教室)から1名とする。

#### ●選考方法

佐藤賞選考委員会による書類選考

#### ●応募方法と提出書類

1. 施設主任(教授相当)により、1名の推薦を受け付ける。(自薦も可)
2. 次の①②を所定の形式で、③④を任意の形式でそれぞれ作成し、①～⑤の全書類を原本1部とコピー9部の計10部ずつをホッチキス・クリップ止めせずに、本会(京都)事務局に送付すること。なお、応募書類は返却しない。
  - ①推薦書(所定用紙)：候補者の研究主題と1,000字以内の推薦理由を記入。
  - ②履歴書(所定用紙)
  - ③研究テーマの要約：2,000字以内に研究主題に関する業績を要約。
  - ④業績目録
  - ⑤研究主題と関連した主たる論文3編の別冊。

※①②については、第78回日本循環器学会ホームページ「学会賞」の「佐藤賞募集要領」からダウンロードしてください。

#### ●選考結果の通知

2013年12月中旬頃

#### ●選考発表(授賞式)

第78回日本循環器学会学術集会において、選考結果を公表し、賞の贈呈を行う。

#### ●そ の 他

賞…賞牌および副賞100万円

受賞講演…その業績について、第78回日本循環器学会学術集会に受賞講演(英語)を行い、日本循環器学会誌(Circulation Journal)に総説を執筆する。

募集締切

2013年9月20日(金)必着

## Young Investigator's Award 候補論文募集要領

(Basic Research 部門, Clinical Research 部門)

### ●趣 旨

日本循環器学会では、独創的な研究の奨励と若手研究者の育成を目的として、「日本循環器学会 Young Investigator's Award」を設け、毎年度の優秀論文を顕彰する。

### ●対 象

1. 国内で行われた循環器学に関する基礎的及び臨床的研究であること。
2. 2013年9月末日(応募締切日)までに印刷公表されていない原著論文であること。
3. 応募者がその研究の着想および遂行に重要な役割を果たしたものであること。
4. 未受賞の論文(研究)のみを対象とする。国内外問わず一度受賞した論文(研究)は応募できない。
5. first author であること。

### ●応募資格

1. 日本循環器学会員であること。
2. 2014年3月31日現在満40歳未満の者。
3. 当会が募集する他の学会賞への応募と重複しないこと。  
(内容が完全に異なる場合は、複数の学会賞への応募可能。一連の研究の一部を分割した場合、サブ解析は同論文と捉え、複数の学会賞への応募はできない。)
4. 1施設(教室)からの複数応募は本賞に限り妨げない。

### ●選考方法

1. 第一次審査…Young Investigator's Award Basic Research, Clinical Research 各選考委員会の書類選考
2. 第二次審査…学術集会における口述発表(英語)
3. 最終審査…口述発表者の中から Basic Research 部門, Clinical Research 部門, 最優秀賞1名および優秀賞3名を各々決定する。

### ●応募方法と提出書類

次の②を所定の形式で、①③④を任意の形式でそれぞれ作成し、全書類を原本1部とコピー9部の計10部ずつホッチキス・クリップ止めをせずに本会(京都)事務局宛に送付すること。

なお、応募書類は返却しない。

- ①英文原著論文
- ②履歴書(Basic Research 部門, Clinical Research 部門 各所定用紙)
- ③過去5年の英文論文業績目録
- ④応募研究において応募者が果たした役割について研究指導責任者の証明書

※②については、第78回日本循環器学会ホームページ「学会賞」の「Young Investigator's Award 募集要領」からダウンロードしてください。

### ●第一次選考結果の通知

2013年12月中旬頃

### ●選考発表(授賞式)

第78回日本循環器学会学術集会において、選考結果を公表し、賞の贈呈を行う。

### ●その他

賞…賞状および奨励金(総額150万円)

募集締切

2013年9月20日(金)必着

## 日本循環器学会 CPIS 賞募集要領

### ●趣 旨

日本循環器学会は1989年に京都にて開催された、第3回心臓血管薬物療法国際会議(Cardiovascular Pharmacotherapy International Symposium, CPIS 会長:河合忠一)を記念し、わが国の循環器学とくに循環器病薬物療法の発展を願って寄付された基金をもとに「日本循環器学会 CPIS 賞」を設け、毎年度の優秀論文を顕彰する。

●対 象

1. 国内外を問わず行われた循環器学における薬物療法に関する研究論文であること.
2. 応募論文は、この1年間(締切日より過去1年間)に発表または投稿中のものであること.
3. 未受賞の論文(研究)のみを対象とする. 国内外問わず一度受賞した論文(研究)は応募できない.
4. first author であること.

●応募資格

1. 日本循環器学会会員であること.
2. 2014年3月31日現在40歳未満の者.
3. 当会が募集する他の学会賞への応募と重複しないこと.  
(内容が完全に異なる場合は、複数の学会賞への応募可能. 一連の研究の一部を分割した場合、サブ解析は同論文と捉え、複数の学会賞への応募はできない.)
4. 応募は1施設(教室)から1名とする.

●選考方法

CPIS 賞選考委員会の書類選考による. 受賞者は毎年1名とする.

●応募方法と提出書類

次の②を所定の形式で、①③を任意の形式でそれぞれ作成し、全書類を原本1部とコピー9部の計10部ずつをホッチキス・クリップ止めせずに、本会(京都)事務局宛に送付すること.

なお、応募書類は返却しない.

- ①英文原著論文
- ②履歴書(所定用紙)
- ③過去5年の英文論文業績目録

※②については、第78回日本循環器学会ホームページ「学会賞」の「CPIS 賞募集要領」からダウンロードしてください.

●選考結果の通知

2013年12月中旬頃

●選考発表(授賞式)

第78回日本循環器学会学術集会において、選考結果を公表し、賞の贈呈を行う.

●その他

賞…賞状および副賞(50万円)

募集締切

2013年9月20日(金)必着

## 日本循環器学会心臓血管外科賞募集要領

●趣 旨

日本循環器学会では、第70回記念日本循環器学会学術集会を記念して、「日本循環器学会 心臓血管外科賞」を設け、毎年度の優秀論文を顕彰する.

●対 象

1. 国内外を問わず、心臓血管外科の臨床に貢献した研究者であること.
2. 応募論文は、この1年間(締切日より過去1年間)に発表または投稿中であること.
3. 未受賞の論文(研究)のみを対象とする. 国内外問わず一度受賞した論文(研究)は応募できない.
4. first author であること.

●応募資格

1. 申請時において日本循環器学会会員であること.
2. 2014年3月31日現在40歳未満の者.
3. 当会が募集する他の学会賞への応募と重複しないこと.  
(内容が完全に異なる場合は、複数の学会賞への応募可能. 一連の研究の一部を分割した場合、サブ解析は同論文と捉え、複数の学会賞への応募はできない.)
4. 応募は1施設(教室)から1名とする.

●選考方法

心臓血管外科賞選考委員会の書類選考による. 受賞者は毎年1名とする.

●**応募方法と提出書類**

次の②を所定の形式で、①③④を任意の形式でそれぞれ作成し、全書類を原本1部とコピー9部の計10部ずつをホッチキス・クリップ止めせずに、本会(京都)事務局宛に送付すること。なお、応募書類は返却しない。

- ①英文原著論文
- ②履歴書(所定用紙)
- ③過去5年の英文論文業績目録
- ④応募研究において応募者が果たした役割について研究指導責任者の証明書

※②については、第78回日本循環器学会ホームページ「学会賞」の「心臓血管外科賞募集要領」からダウンロードしてください。

●**選考結果の通知**

2013年12月中旬頃

●**選考発表(授賞式)**

第78回日本循環器学会学術集会において、選考結果を公表し、賞の贈呈を行う。

●**その他**

賞…賞状および副賞(30万円)

募集締切

**2013年9月20日(金)必着**

日本循環器学会小児循環器賞募集要領

●**趣 旨**

日本循環器学会では、第70回記念日本循環器学会学術集会を記念して、「日本循環器学会 小児循環器賞」を設け、毎年度の優秀論文を顕彰する。

●**対 象**

1. 国内外を問わず、小児循環器の臨床に貢献した研究者であること。
2. 応募論文は、この1年間(締切日より過去1年間)に発表または投稿中であること。
3. 未受賞の論文(研究)のみを対象とする。国内外問わず一度受賞した論文(研究)は応募できない。
4. first author であること。

●**応募資格**

1. 申請時において日本循環器学会会員であること。
2. 2014年3月31日現在40歳未満の者。
3. 当会が募集する他の学会賞への応募と重複しないこと。  
(内容が完全に異なる場合は、複数の学会賞への応募可能。一連の研究の一部を分割した場合、サブ解析は同論文と捉え、複数の学会賞への応募はできない。)
4. 応募は1施設(教室)から1名とする。

●**選考方法**

小児循環器賞選考委員会の書類選考による。受賞者は毎年1名とする。

●**応募方法と提出書類**

次の②を所定の形式で、①③④を任意の形式でそれぞれ作成し、全書類を原本1部とコピー9部の計10部ずつをホッチキス・クリップ止めせずに、本会(京都)事務局宛に送付すること。なお、応募書類は返却しない。

- ①英文原著論文
- ②履歴書(所定用紙)
- ③過去5年の英文論文業績目録
- ④応募研究において応募者が果たした役割について研究指導責任者の証明書

※②については、第78回日本循環器学会ホームページ「学会賞」の「小児循環器賞募集要領」からダウンロードしてください。

●**選考結果の通知**

2013年12月中旬頃

●**選考発表(授賞式)**

第78回日本循環器学会学術集会において、選考結果を公表し、賞の贈呈を行う。

●その他

賞…賞状および副賞(30万円)

募集締切

2013年9月20日(金)必着

日本循環器学会循環器再生医科学賞募集要領

(臨床研究部門, 基礎研究部門)

●趣 旨

日本循環器学会は、2006年に名古屋で開催された第70回記念日本循環器学会学術集会(会長：藤原久義)の基金をもとに21世紀医学の中心的テーマの1つである再生医科学の領域において、「日本循環器学会循環器再生医科学賞」を設けて毎年度の優秀論文を顕彰する。

●対 象

1. 国内外を問わず、再生医療の臨床及び基礎研究に貢献した研究者であること。
2. 応募論文は、この1年間(締切日より過去1年間)に発表または投稿中であること。
3. 未受賞の論文(研究)のみを対象とする。国内外問わず一度受賞した論文(研究)は応募できない。
4. first author であること。

●応募資格

1. 申請時において日本循環器学会会員であること。
2. 当会が募集する他の学会賞への応募と重複しないこと。  
(内容が完全に異なる場合は、複数の学会賞への応募可能。一連の研究の一部を分割した場合、サブ解析は同論文と捉え、複数の学会賞への応募はできない。)
3. 応募は1施設(教室)から1名とする。  
(臨床研究と基礎研究を合わせて1施設、よって1施設からは1名の応募のみとする)

●選考方法

循環器再生医科学賞選考委員会の書類選考による。受賞者は毎年、基礎研究部門1名、臨床研究部門1名の合計2名とする。

●応募方法と提出書類

次の②を所定の形式で、①③④を任意の形式でそれぞれ作成し、全書類を原本1部とコピー9部の計10部ずつをホッチキス・クリップ止めせずに、本会(京都)事務局宛に送付すること。なお、応募書類は返却しない。

- ①英文原著論文
- ②履歴書(基礎研究部門、臨床研究部門各所定用紙)
- ③過去5年の英文論文業績目録
- ④応募研究において応募者が果たした役割について研究指導責任者の証明書

※②については、第78回日本循環器学会ホームページ「学会賞」の「再生医科学賞募集要領」からダウンロードしてください。

●選考結果の通知

2013年12月中旬頃

●選考発表(授賞式)

第78回日本循環器学会学術集会において、選考結果を公表し、賞の贈呈を行う。

●その他

賞…賞状および副賞(総額100万円)

募集締切

2013年9月20日(金)必着

## 女性研究者奨励賞募集要領

### ●趣 旨

日本循環器学会は、2007年に神戸で開催された第71回日本循環器学会学術集会(会長：横山光宏)を記念し、循環器の分野で活躍する女性研究者の支援となることを願って、「女性研究者奨励賞」を設けて毎年度の優秀論文を顕彰する。

### ●対 象

1. 国内外を問わず、循環器の臨床及び基礎研究に貢献した女性研究者であること。
2. 応募論文は、この1年間(締切日より過去1年間)に発表または投稿中であること。
3. 未受賞の論文(研究)のみを対象とする。国内外問わず一度受賞した論文(研究)は応募できない。
4. first author であること。

### ●応募資格

1. 申請時において日本循環器学会の女性会員であること。
2. 当会が募集する他の学会賞への応募と重複しないこと。  
(内容が完全に異なる場合は、複数の学会賞への応募可能。一連の研究の一部を分割した場合、サブ解析は同論文と捉え、複数の学会賞への応募はできない。)
3. 応募は1施設(教室)から1名とする。

### ●選考方法

女性研究者奨励賞選考委員会の書類選考による。受賞者は毎年1名とする。

### ●応募方法と提出書類

次の②を所定の形式で、①③④を任意の形式でそれぞれ作成し、全書類を原本1部とコピー9部の計10部ずつをホッチキス・クリップ止めせずに、本会(京都)事務局宛に送付すること。なお、応募書類は返却しない。

- ①英文原著論文
- ②履歴書(所定用紙)
- ③過去5年の英文論文業績目録
- ④2,000字以内の研究業績の要約

※②については、第78回日本循環器学会ホームページ「学会賞」の「女性研究者奨励賞募集要領」からダウンロードしてください。

### ●選考結果の通知

2013年12月中旬頃

### ●選考発表(授賞式)

第78回日本循環器学会学術集会において、選考結果を公表し、賞の贈呈を行う。

### ●そ の 他

賞…賞状および副賞(50万円)

募集締切

**2013年9月20日(金)必着**

## 日本循環器学会循環器臨床研究奨励賞募集要領

(臨床研究部門、症例報告部門)

### ●趣 旨

日本循環器学会は、2011年に京都で開催された第74回日本循環器学会学術集会(会長：北 徹)を記念し、わが国の循環器学、特に循環器疾患に関する臨床医学の発展を願って「循環器臨床研究奨励賞」を設ける。本賞は、臨床研究部門と症例報告部門にわけ、それぞれ表彰する。

### 【臨床研究部門】

### ●対 象

1. 国内外を問わず、主体的に行った循環器病分野における一連の10年以内の研究論文1～3編を評価する。  
First Author に限定しない。

### ●応募資格

1. 日本循環器学会会員であること。

2. 2014年3月31日現在50歳以下の者.
3. 当会が募集する他の学会賞への応募と重複しないこと.  
(内容が完全に異なる場合は、複数の学会賞への応募可能. 一連の研究の一部を分割した場合、サブ解析は同論文と捉え、複数の学会賞への応募はできない.)
4. 応募は1施設(教室)から1名とする.

●**選考方法**

循環器臨床研究奨励賞選考委員会の書類選考による. 受賞者は毎年「臨床研究部門」1名とする.

●**応募方法と提出書類**

次の②を所定の形式で、①③を任意の形式でそれぞれ作成し、全書類を原本1部とコピー9部の計10部ずつをホッチキス・クリップ止めせずに、本会(京都)事務局宛に送付すること.

なお、応募書類は返却しない.

①英文文原著論文(1～3編)

②履歴書(所定用紙)

③過去5年の英文論文業績目録

④研究主題と主題の要約:1,000字以内に研究主題に関する業績を要約

※②については、第78回日本循環器学会ホームページ「学会賞」の「循環器臨床研究奨励賞募集要領」からダウンロードしてください.

●**選考結果の通知**

2013年12月中旬頃

●**選考発表(授賞式)**

第78回日本循環器学会学術集会において、選考結果を公表し、賞の贈呈を行う.

●**その他**

賞…賞状および副賞(臨床研究部門100万円×1名)

●**採点項目**

「オリジナリティ・クオリティ・循環器臨床への貢献度」の3項目について、各5点満点(最低1点～最高5点)で採点を行う.

**募集締切**

**2013年9月20日(金)必着**

**【症例報告部門】**

●**対 象**

国内外を問わず、この1年間(発刊日が締切日より過去1年間. in pressの場合は受理証明書を提出)に筆頭著者として論文発表した循環器病分野における症例報告論文1編を評価する.

●**応募資格**

1. 日本循環器学会会員であること.
2. 2014年3月31日現在40歳以下の者.
3. 当会が募集する他の学会賞への応募と重複しないこと.  
(内容が完全に異なる場合は、複数の学会賞への応募可能. 一連の研究の一部を分割した場合、サブ解析は同論文と捉え、複数の学会賞への応募はできない.)
4. 応募は1施設(教室)から1名とする.

●**選考方法**

循環器臨床研究奨励賞選考委員会の書類選考による. 受賞者は毎年「症例報告部門」最優秀賞1名、優秀賞2名とする.

●**応募方法と提出書類**

次の②を所定の形式で、①③を任意の形式でそれぞれ作成し、全書類を原本1部とコピー9部の計10部ずつをホッチキス・クリップ止めせずに、本会(京都)事務局宛に送付すること.

なお、応募書類は返却しない.

①英文原著論文(1編)

②履歴書(所定用紙)

③過去5年の英文論文業績目録

※②については、第78回日本循環器学会ホームページ「学会賞」の「循環器臨床研究奨励賞募集要領」からダウンロードしてください.

●選考結果の通知

2013年12月中旬頃

●選考発表(授賞式)

第78回日本循環器学会学術集会において、選考結果を公表し、賞の贈呈を行う。

●その他

賞…賞状および副賞(症例報告部門50万円：最優秀賞1名×30万円，優秀賞2名×10万円)

●採点項目

「オリジナリティ・クオリティ・循環器臨床への貢献度」の3項目について、各5点満点(最低1点～最高5点)で採点を行う。

募集締切

**2013年9月20日(金)必着**

お問い合わせ先・送付先

〒604-8172 京都市中京区烏丸通姉小路下る場之町599番地 CUBE OIKE 8F

(一社)日本循環器学会(JCS)事務局：

第78回日本循環器学会学術集会(学会賞名)

担当：山下

TEL. (075)257-5830 FAX. (075)213-1675

E-mail: meeting@j-circ.or.jp

## Guide for the Young Investigator's Award for International Students

### [OBJECTIVE]

The International Committee of the Japanese Circulation Society awards the Young Investigator's Award to International Students who are young researchers who come to Japan to do their research and who contribute to the progress of cardiovascular and related fields.

### [QUALIFICATIONS]

Each applicant must meet each of these criteria:

- ① Non- Japanese nationality, graduated from a university outside Japan and come to Japan to do a research, and have stayed in Japan within 7 years as of March 31, 2014.
- ② A regular member of the Japanese Circulation Society, and annual fee for membership must be paid before you apply.
- ③ Under 40 years old as of March 31, 2014.
- ④ Make an oral presentation in English at the 78<sup>th</sup> Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society.
- ⑤ The manuscript submitted for the YIA award must not be submitted for other awards of the Japanese Circulation Society at the 78<sup>th</sup> Annual Scientific Meeting.
- ⑥ Non-winners of first place for YIA for International Students in the past.

### [RESEARCH FOR THE AWARD]

Any basic or clinical science research in the cardiovascular or related fields that was conducted in Japan and has not been published as of September 30, 2013. Applicant must have made major contributions to the research concept(s) and conduct of the research.

### [HOW TO APPLY]

Complete the following documents and submit them to the application office by registered mail. Documents should be 14 copies: one original, and fourteen photocopies. There are no special formats for these documents. Each document should be A-4 size: one page. The office will not return the documents regardless of the result for the award; the applicant is strongly encouraged to keep the original documents.

- ① Abstract: written in English, the length of abstract should not exceed 220 words without title, names and organizations
- ② Figures: no limit to the number of figures; all figures should be printed on one page
- ③ Legends of Figures: the legends of document ②
- ④ Certification of Qualifications: Prepared and signed by the director of applicant's research
- ⑤ Curriculum Vitae (written in English, include your JCS Registration Number)

### [NOMINATION]

Preliminary nominations will be made based on the application documents. Final nominations will be made at the 78<sup>th</sup> Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society. Awards will be granted for two categories: First place (to one applicant) and Second place (to three to four applicants).

### [NOTIFICATION OF RESULT]

Applicants will receive a letter with the results of the preliminary nomination. The Japanese Circulation Society will announce results of the final nomination and confer the awards to finalists at General Meeting during 78<sup>th</sup> Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society.

### [DEADLINE]

**September 20, 2013.** Applications must reach us. There are no exceptions.

**[APPLICATION OFFICE]**

All documents must be sent to:  
YIA for International Students  
The Japanese Circulation Society  
8th Floor, CUBE OIKE Bldg.,  
599 Bano-cho, Karasuma Aneyakoji,  
Nakagyo-ku, Kyoto 604-8172  
JAPAN

**[CONTACT PERSON]**

Yuko Yoshida, Ms.  
Phone: 075-257-5830 Fax: 075-213-1675 E-mail: [international@j-circ.or.jp](mailto:international@j-circ.or.jp)

## 国際留学生 Young Investigator's Award 募集要領

### 【趣旨】

日本循環器学会国際交流委員会では、日本へ留学して循環器学領域で研究を行っている若手研究者を対象として、日本循環器学会総会において国際留学生 Young Investigator's Award を贈呈する。

### 【応募資格】

- ①日本国以外の国籍を有し、外国の大学を卒業後日本に留学し、2014年3月31日現在で留学期間が7年未満の者
- ②申請時において日本循環器学会会員であり、会費を完納していること
- ③2014年3月31日現在で満40歳未満の者
- ④第78回日本循環器学会当日に口述発表(英語)ができること
- ⑤他の学会賞への応募と重複しないこと
- ⑥過去に本賞の最優秀賞を受賞していないこと

### 【対象】

日本国内で行われた循環器学に関する基礎的あるいは臨床的研究で、2013年9月末日までに印刷公表されていない研究。ただし、応募者がその研究の着想及び遂行に重要な役割を果たしたものであることを必要とする。

### 【応募方法】

以下の書類5点を作成すること。5点いずれも書式は自由であるが各書類はA4一枚にまとめること。原本1部とコピー14部を簡易書留郵便で本会事務局宛に送付すること。なお、応募書類は返却しない。

- ①英文抄録(題名・氏名・所属名を除いて本文220語以内)
- ②図表(一枚にいくつの図表を記載しても可)
- ③図表の説明(②の説明)
- ④資格証明書(研究指導者による、応募者が応募資格に該当する旨の証明)
- ⑤英文履歴書(会員番号を記入すること)

### 【選考方法】

国際留学生 Young Investigator's Award 選考委員会の書類選考による第一次審査と学術集会における口述発表の第二次審査とする。受賞者は最優秀賞1名および優秀賞3～4名とする。

### 【結果通知】

第一次審査結果は郵送により応募者に通知する。第二次審査結果は第78回日本循環器学会学術集会授賞式において発表し、賞の贈呈を行う。

### 【締切】

2013年9月20日(金)

### 【お問い合わせ先】

日本循環器学会事務局 担当 吉田 悠子

TEL(075)257-5830 FAX(075)213-1675 E-mail : international@j-circ.or.jp

## 編集委員長からのメッセージ

Circ J Vol. 77 No. 4 掲載

### Rapid Publication and Announcement of the 2013 JCS Meeting Activities

Hiroaki Shimokawa, MD, PhD

Dear Colleagues,

The 77<sup>th</sup> Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society (*JCS 2013*) will be held in Yokohama on March 15–17, 2013 (Congress Chairperson, Kyoichi Mizuno, MD, PhD). The *Circulation Journal* rapidly publishes and announces *JCS 2013* activities as follows:

#### 1. Late Breaking Clinical Trials Papers

Papers selected for presentation in the Late Breaking Clinical Trials (LBCT) sessions in *JCS 2013* will be rapidly published, after peer review, in the April issue of the Journal. In addition, these LBCT papers (*JCS 2013*) will be published online along the presentation in order to attract widespread attention of the attendees, as well as readers worldwide.

#### 2. *JCS 2012* Awards

We are pleased to announce the following JCS Awards to be presented during the *JCS 2013* meeting:

##### 1. Sato Award by the Japan Heart Foundation and the JCS (38<sup>th</sup>)

Koichiro Kuwahara, MD, PhD

*(Department of Medicine and Clinical Science, Kyoto University Graduate School of Medicine)*

“Elucidation of Molecular Mechanisms Underlying the Regulation and Action of Cardiovascular Hormones to Find Novel Therapeutic Targets for Cardiovascular Diseases”



##### 2. CPIS (Cardiovascular Pharmacotherapy International Symposium) Award (21<sup>st</sup>)

Yoshiki Akakabe, MD

*(Department of Cardiovascular Medicine, Kyoto Prefectural University School of Medicine)*

“ARIA Is a Novel Pharmacotherapeutic Target to Treat Metabolic Disorders”



##### 3. Cardiovascular Surgery Award (8<sup>th</sup>)

Junko Kobayashi, MD

*(Departments of Cardiovascular Surgery, Okayama University Graduate School of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical Sciences)*

“Disease Modeling for Hypoplastic Left Heart Syndrome With Patient-Specific Induced Pluripotent Stem Cell-Derived Cardiomyocytes”



**4. Pediatric Cardiology Award (8<sup>th</sup>)**

Ayako Chida, MD

*(Department of Pediatrics, National Defense Medical College)*

“Outcomes of Childhood Pulmonary Arterial Hypertension in BMPR2 and ALK1 Mutation Carriers”



**5. Cardiovascular Regeneration Medical Science Award (7<sup>th</sup>)**

**Experimental Investigator**

Yuji Shiba, MD, PhD

*(Department of Cardiovascular Medicine, Shinshu University)*

“Human ES-Cell-Derived Cardiomyocytes Electrically Couple and Suppress Arrhythmias in Injured Hearts”



**Clinical Research Investigator**

Suguru Tarui, MD

*(Cardiovascular Surgery, Okayama University Hospital)*

“Transcoronary Infusion of Cardiac Progenitors in Infants With Hypoplastic Left Heart Syndrome (TICAP) – A Prospective Phase 1 Controlled Trial –”



**6. Woman Researcher's Award (6<sup>th</sup>)**

Seimi Kobayashi, MD, PhD

*(Department of Internal Medicine, Division of Cardiovascular Medicine, Kobe University Graduate School of Medicine)*

“Osteoblast-Like Differentiation of Cultured Human Coronary Artery Smooth Muscle Cells by Bone Morphogenetic Protein Endothelial Cell Precursor-Derived Regulator (BMPER)”



**7. Cardiovascular Clinical Research Investigator's Award (2<sup>nd</sup>)**

**Clinical Research Investigator**

Masaki Awata, MD, PhD

*(Kansai Rosai Hospital Cardiovascular Center)*

“Angioscopic Assessment of Arterial Repair Following Percutaneous Coronary Intervention in Patients”



**Case Report**

**[First Place]**

Yuki Kakefuda, MD

*(Department of Cardiology, Tsukuba Medical Center Hospital)*

“Isolated Cardiac Involvement of B-Cell Acute Lymphoblastic Leukemia Mimicking Acute Myocardial Infarction With Persistent Broad ST-Segment Elevation”



**[Second Place]** (in alphabetical order)

Shingo Maeda, MD, PhD

*(Department of Cardiovascular Medicine, Tokyo Medical and Dental University)*

“Atrial Fibrillation Arising From the Left Brachiocephalic Vein”



Nobuhiro Nishiyama, MD, PhD

*(Department of Cardiology, Keio University School of Medicine)*

“Implantation of the Right Ventricular Lead of an Implantable Cardioverter-Defibrillator Complicated by Apical Myocardial Infarction”



The final results of the Young Investigator Awards (YIA) Competition, those of the International YIA Competition and those of Comedical Awards will be announced in the next issue of the Journal.

Hiroaki Shimokawa, MD, PhD  
Editor-in-Chief  
*Circulation Journal*  
(Released online March 7, 2013)

## Circ J Vol. 77 No. 5 掲載

# Announcement of the 2013 JCS Meeting Activities (2)

Hiroaki Shimokawa, MD, PhD

Dear Colleagues,

As the Editor-in-Chief of the *Circulation Journal*, the official journal of the Japanese Circulation Society (JCS), I am pleased to further report the *JCS 2013 Meeting Activities*.

### *JCS 2013 Activities*

The *JCS 2013 Annual Meeting* has been held during March 15–17 in Yokohama, Japan. The following winners of the Young Investigator's Award (YIA), the YIA for International Students and the Co-medical Award have been selected and were awarded during the Meeting. These awards should promote their careers.

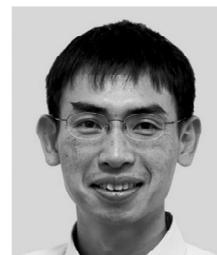
#### 1. Young Investigator's Award (30<sup>th</sup>)

##### *[First Place]*

Hidetaka Kioka, MD

*(Department of Cardiovascular Medicine, Osaka University Graduate School of Medicine)*

“G0/G1 Switch Gene 2 Promotes Mitochondrial ATP Production and Protects Cardiomyocytes from the Energy Crisis under Hypoxia”



##### *[Second Place]*

Yuichi Tamura, MD, PhD

*(Department of Cardiology, Keio University School of Medicine)*

“Neural Crest-Derived Resident Cardiac Cells Contribute to the Restoration of Adrenergic Function of Transplanted Heart in Rodent”



Yuichiro Arima, MD

*(Department of Physiological Chemistry and Metabolism, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo)*

“Preotic Neural Crest Cells Contribute to Coronary Artery Smooth Muscle Involving Endothelin Signaling”



Seitaro Nomura, MD

*(Department of Cardiovascular Medicine, Chiba University Graduate School of Medicine)*

“Oct4 Redirection by Wnt Signaling Regulates Cardiac Mesoderm Specification”



Eiji Horio, MD

*(Department of Cardiovascular Medicine, Graduate School of Medical Science, Kumamoto University)*

“A Critical Role for the Vascular Endothelial Cell-Derived Angiopoietin-Like Protein ANGPTL2 in Endothelial Dysfunction and Atherosclerosis”



## 2. Young Investigator's Award for International Students (11<sup>th</sup>)

### *[First Place]*

Alia Ellawindy, MBBCh, Master Degree of Medical Genetics (Egypt)

*(Department of Cardiovascular Medicine, Tohoku University Graduate School of Medicine)*

“Spontaneous Development of Arrhythmogenic Right Ventricular Cardiomyopathy in Mice Overexpressing Dominant-Negative Rho-Kinase in Cardiovascular System”



### *[Second Place]*

Jack Hung-Wen Wang, BSc MBBS (Hon I) (Australia)

*(Department of Cardiovascular Medicine, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo)*

“The Omega-3 Fatty Acid, Eicosapentaenoic Acid, Attenuates Abdominal Aortic Aneurysm Formation via Suppression of Matrix Destruction”



Chang-ning Hao, MD (China)

*(Department of Cardiology, Nagoya University Graduate School of Medicine)*

“Therapeutic Angiogenesis by Cell Transplantation – A Comparative Study of Adipose Derived Regenerative Cells Versus Bone Marrow Mononuclear Cells –”



Haiying Jiang, PhD (China)

*(Department of Community Healthcare & Geriatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine)*

“Mechanisms Underlying the Impairment of Ischemia-Induced Neovascularization in Cathepsin K-Deficient Mice – Impact on Noich1 Activation –”



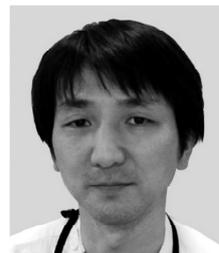
### 3. Co-medical Award (3<sup>rd</sup>)

#### *[First Place]*

Koji Sakurada

*(Department of Rehabilitation, The Cardiovascular Institute)*

“Correlation Between Geriatric Nutritional Risk Index (GNRI) and Prognostic in Patients With Heart Failure”



#### *[Second Place]*

Yuuki Tanaka

*(Department of Medical Technology, Tokushima Prefectural Central Hospital)*

“The Nutritional Index ‘CONUT’ as Predictor of Prognosis in Heart Failure Patients”



Masashi Takahashi

*(Department of Diagnostic Radiology, Hiroshima Prefectural Hospital)*

“Assessment of FFR<sub>CT</sub> and Blood-Flow Analysis Using Fluid-Analysis Software”



#### *[Encouragement Award for Health Care Professionals]*

Mami Miyazono Shinohara, RN, PhD

*(Department of Health Sciences, Graduate School of Medical Sciences, Kyushu University)*

“Relationship Between Quality of Life and Other Variables Among Implantable Cardioverter-Defibrillator Patients”



Takeshi Inaba

*(Division of Physiological Diagnosis, Department of Clinical Laboratory, Tsukuba University Hospital)*

“Examination of the Three Direction Magnetocardiogram Patterns of Ventricular Premature Complexes”



Yasunori Tsuboi

*(Division of Rehabilitation Medicine, Kobe University Graduate School of Medicine)*

“Utility of Cardiopulmonary Exercise Testing for Assessing Exercise Capacity After Adding Bosentan in Patients With Pulmonary Arterial Hypertension”



Hiroaki Shimokawa, MD, PhD

Editor-in-Chief

*Circulation Journal*

(Released online March 30, 2013)

# 2013年度日本循環器学会留学支援助成募集要項

## 趣 旨：

日本循環器学会は、第72回日本循環器学会総会・学術集会(会長：松崎益徳)を記念し、海外留学する若手研究者の経済的支援を通じて、学術集会の発展、医学研究の振興を願って「留学支援基金」を設定する。

## 1. 対 象

2014年度に海外施設へ留学、将来的に日本に帰国し、循環器領域の進歩に著しい貢献が期待される研究者とする。

## 2. 助 成 額

300万円を支援金として本人宛に交付する。

## 3. 応募資格

- ① 申請時において日本循環器学会の5年以上の会員歴がある会員であり、会費を完納した満40歳未満の者(2014年4月1日時点での年齢)。
- ② 留学期間は1年以上であること。
- ③ 2014年4月1日以降、2015年3月31日までに留学を開始すること。  
※上記留学開始期間以前に出発する場合の応募は認めない。  
※選考決定後、留学前に留学先を変更した場合、取消すこともあり得る。
- ④ 過去に本基金から助成を受けていないこと。
- ⑤ 申請時点では、本助成のみの応募とする。
- ⑥ 留学に際して、他の学会および財団から同様の目的で助成を受けていないこと。

## 4. 選考方法

公募とし、学術集会運営委員会において書類審査を行い、必要な手続きを経て応募者に通知する。助成を受ける者は1名とし、応募は1施設からは1名とする。

## 5. 応募方法

以下の5点の書類を作成し、全書類を原本1部とコピー12部を各セットにして、日本循環器学会事務局に送付すること。なお、応募書類は返却しない。

※所定用紙は学会ホームページ <http://www.j-circ.or.jp/index.htm> の「留学支援助成」からダウンロードしてください。

- ① 履歴書(所定用紙)
- ② 申請書(所定用紙)
- ③ 推薦理由書(所定用紙、国内所属機関の責任者より推薦理由の記載を要する)
- ④ 過去5年の英文論文業績目録
- ⑤ 先方の留学機関からの留学承諾書(Letter 等)のコピー

## 6. 締 切

**2013年7月26日(金)17:00(期日厳守、必着)**

※書類が完備していない場合申請書を受理できません。提出の際は十分にご確認ください。

## 7. 対象者の公表

2013年11月下旬に応募者に結果を通知する。また、対象者の氏名、所属、研究テーマを当ホームページに公表する。

## 8. 成果の報告

- ① 留学期間終了後3ヶ月以内に報告書を日本循環器学会に提出する。

2013年度日本循環器学会留学支援助成募集要項

- ② 留学期間終了後の年次学術集会時において留学成果の発表を行う。
- ③ 留学期間中の研修に関して論文等に公表する場合は「日本循環器学会留学支援助成」による旨を書き添えること。

# 循環器専門医制度

専門医制度委員会

2013年度以降の「循環器専門医」受験申請者・研修施設研修関連施設の指導責任者の方へ

## 【注意!!】循環器専門医研修カリキュラム達成度評価表の提出が必須となります

第24回(2013年度)循環器専門医試験の受験申請者より「循環器専門医研修カリキュラム達成度評価表」の提出が必須となります。2013年度以降に「循環器専門医」の受験をご希望の場合は、日本循環器学会認定循環器専門医研修カリキュラムに基づく研修を循環器学会指定研修施設または関連施設にて受験申請までに受講してください。

### ●受験申請者の方へ

- 1) 研修施設または研修関連施設にて、「研修カリキュラム達成度評価表」に記載されている全ての項目を受験申請時までに修了してください。
- 2) 各項目の修了ごとに指導医(循環器専門医)に署名を依頼してください。
- 3) 所属の施設にて研修困難な項目がある場合は、検査あるいは治療が可能な本会指定の施設にて研修を行い、その施設の指導医(循環器専門医)に署名を依頼してください。

### ●研修施設・研修関連施設の指導責任者の方へ

「研修カリキュラム達成度評価表」に記載されている検査法および治療法で設備状況等により施設内で実施できない項目がある場合、受験申請予定者が関連の本会指定研修施設または関連施設で研修を受けられるようご配慮をお願いします。

全ての研修項目を修了していない場合は受験申請ができませんので、関連の施設との連携も含めご協力をお願いいたします。

「研修カリキュラム達成度評価表」の詳細については下記 URL よりご確認ください。

<http://www.j-circ.or.jp/information/senmoni/hyoukahyou.htm>

※カリキュラム達成度評価表は、受験申請の際にご提出いただきますので、それまで大切に保管してください。  
責任者の捺印後の評価表を紛失・喪失された場合には、もう一度最初から研修し直しとなることとなりますので、保管には十分にご注意ください。

以上

## 第24回(2013年度)日本循環器学会認定循環器専門医資格認定審査について

### I. 審査方法

書類審査及び筆記試験(書類審査合格者のみ筆記試験の受験資格を有する)

### II. 受験資格

1. 次の5項を充足していること.

- 1) 日本国の医師免許証を有し、医師としての人格及び見識を備えていること.
- 2) 2013年4月1日現在、内科系は認定内科医または総合内科専門医、外科系は外科学会認定登録医または外科専門医、小児科系は小児科専門医であること.
- 3) 本学会会員であり、かつ通算して6年以上の会員歴を有すること(※1).
- 4) 医師免許取得後、専門医試験日前日をもって満6年またはそれ以上の臨床研修歴を有すること(※2).  
6年のうち3年以上は本学会指定の研修施設で研修していること.  
2004年度(平成16年度)以降に医師免許を取得したものは、内科系は認定内科医、外科系は外科専門医、小児科系は小児科専門医資格取得後、専門医試験日前日をもって満3年以上本学会指定の研修施設で研修していること(※3).  
(研修関連施設での研修期間は研修施設の1/2として計算する)
- 5) AHA BLS ヘルスケアプロバイダーコースを受講修了後、AHA ACLS プロバイダーコースを受講し(※4)、2013年4月1日現在有効な認定を受けていること. AHA ACLS インストラクターコースも同等資格として認める. また小児科系に限り AHA PALS コースも同等資格として認める.

2. 審査料20,000円および2013年度の年会費を2013年6月末までに完納していること(※5).

3. 喫煙が心血管病の危険因子であることを認識し、自ら禁煙し且つ禁煙の啓発に努めること.

4. 試験の合格後、専門医名簿への公開に同意すること.

※1 2013年4月1日時点で会員歴6年目であればよい. 2009年度以降に入会した会員の方は受験できません.

※2 2003年度以前(2003年度を含む)に医師免許を取得した方は2年間のスーパーローテーションの期間を含む.

※3 2010年9月以降(2010年9月含む)に認定内科医資格を取得された方は、満3年以上の研修歴が満たないため、今回受験できません.

※4 対象コースはJCS(日本循環器学会)、JAA(日本 ACLS 協会)、JSISH(日本医療教授システム学会)、福井県済生会病院 ITC-横浜トレーニングセンター(横浜 ACLS)、その他海外団体主催でも「AHA ACLS プロバイダーコース」であればよい.

なお、AHA ACLS プロバイダーコース受講の際には、AHA BLS ヘルスケアプロバイダーコースの修了が必要となります. AHA ACLS プロバイダーコースおよびAHA BLS ヘルスケアプロバイダーコースの開催日程は、本学会ホームページ <http://www.j-circ.or.jp/information/acls/acls.htm> を確認してください.

※5 審査料及び年会費の払込用紙は4月下旬に送付します.

### III. 申請方法

以下の申請書類すべてを事務局まで郵送してください. ①～⑤はWEBを介して作成し、印刷して提出してください. ⑥はWEB上よりダウンロードして必要事項を記入して提出してください. ⑦～⑧はコピーを提出してください.

(①～⑧まで全ての書類を同封してお送りください)

- ① 循環器専門医資格認定審査申請書
- ② 診療実績表(A)受持入院患者一覧表
- ③ 診療実績表(B)研修記録
- ④ 診療実績表(C)手術所見, (D)外科手術記録, (E)剖検記録のいずれか
- ⑤ 研修(研修関連)施設在籍証明書
- ⑥ 循環器専門医研修カリキュラム達成度評価表
- ⑦ 基本領域の資格証書のコピー
- ⑧ AHA ACLS プロバイダーカード, AHA ACLS インストラクターカード, AHA PALS プロバイダーカード

下記のいずれかのコピー

#### IV. 日 程

日 程	内 容
1月下旬～3月31日(日) (※終了しました)	受験申請・申請書類作成期間(※1) <u>この期間以後の新規受験申請は受付不可</u> 終了しました。
4月1日(月)～4月12日(金) 17時必着	申請書類提出期間(※2)終了しました。
4月下旬	審査料払込用紙送付(※3)
5月～7月中旬	申請書類審査期間
7月下旬	書類審査結果通知(※4)
8月25日(日)	筆記試験施行(※5) 東京国際フォーラム, 梅田スカイビル
10月中旬	可否通知

- ※1 受験者がWEBを介して受験申請・申請書類を作成する期間。
- ※2 受験者が申請書類を事務局へ送付する期間。  
この期間以後に到着した書類は一切受け付け致しません。
- ※3 事務局から審査料払込用紙を送付します。
- ※4 書類審査不合格の場合は、責任者にも判定理由を通知します。
- ※5 試験練習問題は学会ホームページ(一般公開)でご確認頂けます。

#### V. 認定について

- 試験の合格後、専門医認定申請の手続きをご案内致します。
- 認定料は30,000円です。

循環器専門医資格認定試験およびその申請書等において不正が判明した場合は専門医制度規則により厳格な処分が科せられます。

## 専門医認定更新の手続きの流れ

(認定4年目の8月中旬) 事務局から「単位取得状況通知書」送付

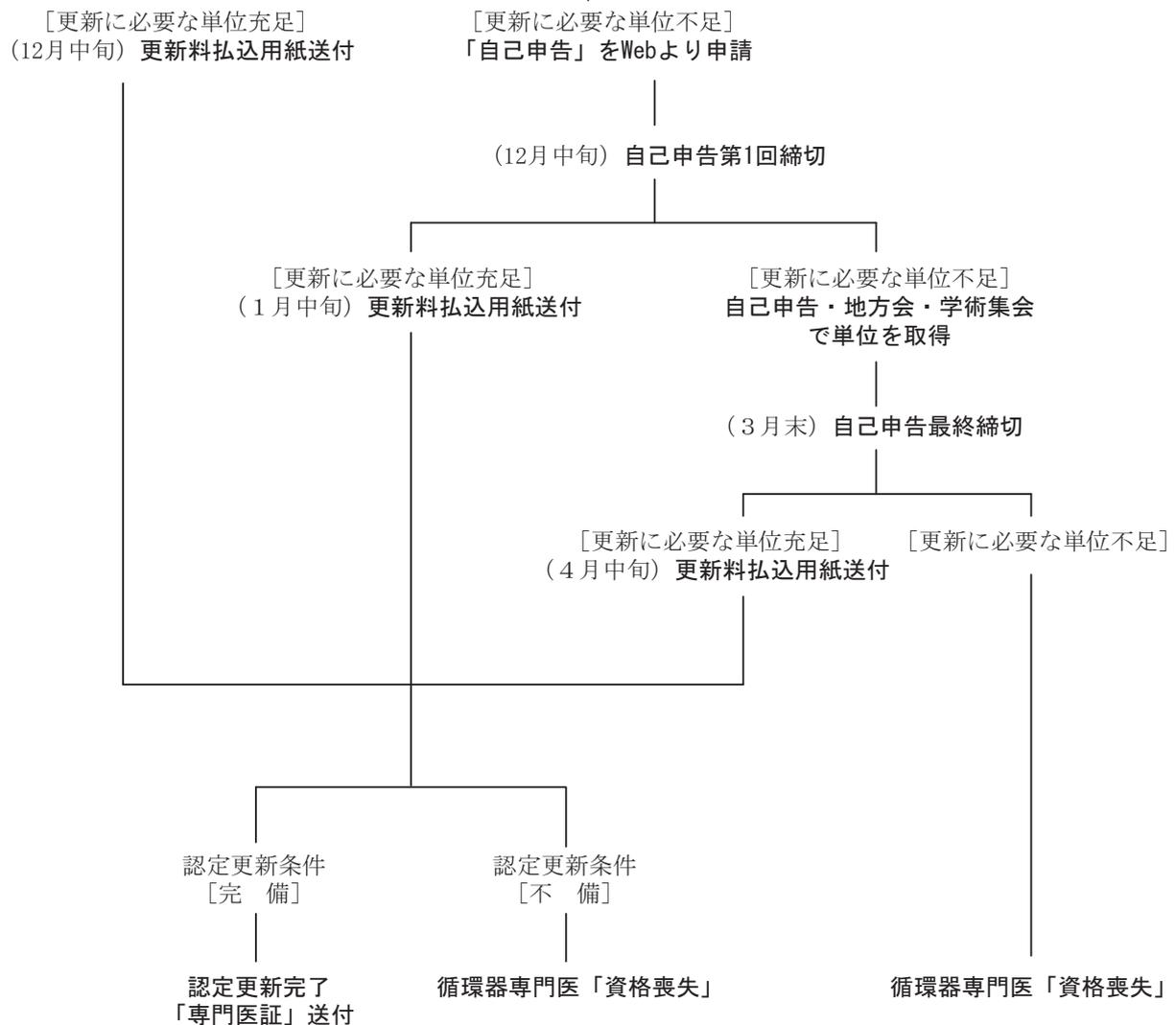
↓  
 認定期間終了時まで残り1年8ヶ月  
 認定更新の条件及び取得単位数の確認

(認定5年目10月) 事務局から「更新に関するご案内」を送付  
 更新申請書+基本領域の資格証明書を指定のWebページ※2から提出

**認定更新の条件**

次の5条件全ての手続きが完了していない場合は、資格を更新することができません。

- ① 更新に必要な単位の取得※1
- ② 更新申請書の提出
- ③ 基本領域の資格証明書提出
- ④ 更新料の納入
- ⑤ 年会費の納入



注：認定更新条件の充足時期によって送付日程が変わります

※1 「更新に必要な単位」については p.37 をご確認ください。

※2 インターネットによる専門医更新申請が可能となりました。更新申請の手順等の詳細は認定5年目の10月中旬頃に送付いたします「更新に関するご案内」に同封させていただきます。

## 専門医認定更新研修の必修化について

専門医制度委員会、理事会、2009年3月20日の評議員会の審議を経て循環器専門医認定更新の際に所定の研修が必修となりました。変更点は下記のとおりです。

専門医認定更新に必要な研修単位(50単位)のうち、必修研修の単位配分は下記のとおりとなります。認定更新には下記の必修研修単位を含む合計50単位が必要となります。

### 【必修研修と単位数】

#### ① 最新医療の知識習得に関する研修……30単位

日本循環器学会主催の学術集会・地方会(いずれも教育セッションを含んでもよい)への参加にて単位を取得してください。

#### ② 医療安全・医療倫理に関する研修……2単位

学術集会および地方会(※1)開催時の「医療安全・医療倫理に関する講演会」への参加あるいはインターネット(※2)での視聴研修プログラムによる研修で単位を取得してください。

※1 各地方会での開催につきましてはDVDセッションとなり同じ講演を既に聴講されている場合には単位は重複して加算されません。

開催状況につきましては各地方会により異なります。事前に必ずご確認ください。

※2 インターネットでの視聴研修につきましては、下記からご覧いただけます。視聴にはID(会員番号)とパスワードが必要です。パスワードをお忘れの場合は下記ホームページから再発行可能です。

日本循環器学会ホームページ(<http://www.j-circ.or.jp>)



循環器専門医制度



〔専門医専用〕医療安全 Web 研修

### 【必修研修単位の取得期間】

現在の認定期間	必修研修単位の取得期間
2009/4/1～2014/3/31	2009/4/1～2014/3/31
2010/4/1～2015/3/31	2010/4/1～2015/3/31
2011/4/1～2016/3/31	2011/4/1～2016/3/31
2012/4/1～2017/3/31	2012/4/1～2017/3/31
2013/4/1～2018/3/31	2013/4/1～2018/3/31

### 【留学による特別措置】

#### 1) 留学期間中の海外学会参加研修単位について

留学により、日本循環器学会主催の学術集会・地方会に参加できなかった場合は、その留学期間中に開催された海外学会(WCC, AHA, ACC, APSC, ESC)への参加を、最新医療の知識習得に関する研修を行ったとして15単位を付与します。ただし、上記5学会の内1年間に複数参加しても、1年度につき1回分の研修単位のみしか認められません。

例) 2012年度(2012/4/1~2013/3/31)にAHAとACCに参加した場合は、どちらか一方の参加のみ「最新医療の知識習得に関する研修」15単位として認める。

※留学期間が連続して10ヶ月以上の者を対象とする。

申請方法は帰国後、2)に必要な留学単位申請書および在籍証明書に上記の海外学会参加証(ネームカード)コピーを同封してください。抄録集のコピーは不可。

#### 2) 留学期間の研修単位について

留学単位は必修研修以外の区分として現状通り1ヶ月1単位を加算します。

※帰国後、単位申請書および在籍証明書のコピーを提出すること。

#### 3) 認定更新日経過の場合について

更新日(各年度4月1日)を超えて留学中の場合は、現状通り取得単位に関わらず、所定の更新手続きを行えば更新することができます。

循環器専門医認定更新の必修研修および単位につきましてご質問などございましたら下記連絡先までお問合せください。

問い合わせ先：  
一般社団法人 日本循環器学会(JCS 事務局)  
専門医制度委員会 担当  
TEL：075-257-5830  
E-mail: senmoni@j-circ.or.jp

## その他専門医制度に関する手続き・問い合わせ

下記申請に関しては、学会ホームページ(<http://www.j-circ.or.jp/>) **循環器専門医制度** をご確認の上、必要書類をダウンロードしてください。

- 証明書交付申請(和文証明・英文証明書発行, 循環器専門医証再発行)
- 施設証再交付申請
- 留学期間の研修単位申請
- 専門医カード再発行申請

上記の他、専門医制度に関する情報を学会ホームページ **循環器専門医制度** に掲載しておりますので、ご確認ください。

問い合わせ先：

一般社団法人 日本循環器学会(JCS 事務局)

専門医制度委員会 担当

TEL：075-257-5830 FAX：075-213-1675

E-mail: senmoni@j-circ.or.jp

# 地方会・関連学会・研究会情報

## 専門医研修単位認定学会情報

### 【お願い】

各学会情報は、申請された時点の情報を掲載していますので、開催までに情報に変更が生じることがございます。当日参加される場合は、必ず各学会・各地方会・各研究会にて情報をご確認ください。

#### 1. 日本循環器学会地方会

(単位登録票方式)

地方会：5単位、教育セッション：3単位、医療安全：2単位※

※医療安全については各地方会により開催が異なります。各支部へ直接お問い合わせください。

《地方会当日会場での単位登録のみ受付》

##### 第109回北海道地方会

会期：2013年6月22日(土)

会場：北海道大学学術交流会館(札幌市)

会長：東 信良

(旭川医科大学外科学講座循環・呼吸・腫瘍病態外科学)

##### 第110回北海道地方会

会期：2013年11月23日(土)

会場：北海道大学学術交流会館(札幌市)

会長：岡本 洋(北海道医療センター)

##### 第156回東北地方会

会期：2013年6月1日(土)

会場：岩手医科大学付属循環器医療センター(盛岡市)

会長：奥村 謙(弘前大学循環呼吸腎臓内科学)

##### 第157回東北地方会

会期：2013年12月7日(土)

会場：仙台国際センター(仙台市)

会長：下川宏明(東北大学循環器内科学)

##### 第228回関東甲信越地方会

会期：2013年6月15日(土)

会場：東京ステーションコンファレンス(千代田区)

会長：石光俊彦(獨協医科大学循環器内科)

##### 第229回関東甲信越地方会

会期：2013年9月14日(土)

会場：東京ステーションコンファレンス(千代田区)

会長：西崎光弘(横浜南共済病院循環器内科)

##### 第230回関東甲信越地方会

会期：2013年12月7日(土)

会場：東京ステーションコンファレンス(千代田区)

会長：松本万夫(埼玉医科大学国際医療センター心臓内科)

##### 第231回関東甲信越地方会

会期：2014年2月1日(土)

会場：東京ステーションコンファレンス(千代田区)

会長：山崎純一

(東邦大学医療センター大森病院循環器内科)

##### 第141回東海地方会

会期：2013年6月22日(土)

会場：ウインクあいち(愛知県産業労働センター)  
(愛知県名古屋市)

会長：天野哲也(愛知医科大学循環器内科)

##### 第126回北陸地方会

会期：2013年6月16日(日)

会場：金沢医科大学(石川県河北郡内灘町)

会長：森本茂人(金沢医科大学高齢医学)

##### 第142回東海・第127回北陸合同地方会

会期：2013年11月9日(土)・10日(日)

会場：金沢エクセルホテル東急(金沢市)

会長：芳村直樹

(富山大学外科学(呼吸・循環・総合外科)講座)

##### 第115回近畿地方会

会期：2013年6月15日(土)

会場：国立京都国際会館(京都市)

会長：木村 剛(京都大学内科学講座)

##### 第116回近畿地方会

会期：2013年11月30日(土)

会場：大阪国際交流センター(大阪市)

会長：増山 理(兵庫医科大学内科学循環器内科)

##### 第117回近畿地方会

会期：2014年7月12日(土)

会場：コングレコンベンションセンター(大阪市)

会長：佐賀俊彦(近畿大学心臓血管外科)

##### 第102回中国・四国合同地方会

会期：2013年5月10日(金)、11日(土)

会場：サンポートホール高松(高松市)

会長：坂東重信(香川県立白鳥病院)

##### 第103回中国地方会

会期：2013年10月26日(土)・27日(日)

会場：米子コンベンションセンター (Big Ship)  
(米子市)

会長：山本一博(鳥取大学病態情報内科学)

##### 第103回四国地方会

会期：2013年12月7日(土)

会場：あわぎんホール(徳島市)

会長：赤池雅史(徳島大学医療教育学)

**第114回九州地方会**

会 期：2013年 6 月29日(土)  
 会 場：アクロス福岡(福岡市)  
 会 長：土橋卓也(九州医療センター高血圧内科)

**第115回九州地方会**

会 期：2013年12月 7 日(土)  
 会 場：佐賀マリトピア(佐賀市)  
 会 長：森田茂樹(佐賀大学胸部心臓血管外科)

**2. 循環器関連学会**

(自己申告方式／3 単位)

※今後、会期および会場などの変更が生じる場合があります。詳しくは直接各学会事務局へお問い合わせください。

**第49回日本循環器病予防学会**

会 期：2013年 6 月14日(金)～15日(土)  
 会 場：金沢市文化ホール(金沢市)  
 会 長：中川秀昭(金沢医科大学公衆衛生学)

**第28回日本不整脈学会大会**

会 期：2013年 7 月 4 日(木)～ 6 日(土)  
 会 場：グランドプリンスホテル新高輪(港区)  
 会 長：杉 薫  
 (東邦大学医療センター大橋病院循環器内科)

**第49回日本小児循環器学会**

会 期：2013年 7 月11日(木)～13日(土)  
 会 場：国立オリンピック記念青少年総合センター  
 (渋谷区)  
 会 長：中西敏雄(東京女子医科大学循環器小児科)

**第22回日本心血管インターベンション治療学会**

会 期：2013年 7 月11日(木)～13日(土)  
 会 場：神戸国際会議場, 神戸国際展示場,  
 神戸ポートピアホテル(神戸市)  
 会 長：宮崎俊一(近畿大学循環器内科)

**第19回日本心臓リハビリテーション学会**

会 期：2013年 7 月13日(土)～14日(日)  
 会 場：仙台国際センター(仙台市)  
 会 長：上月正博

**第45回日本動脈硬化学会**

会 期：2013年 7 月18日(木)～19日(金)  
 会 場：京王プラザホテル(新宿区)  
 会 長：及川眞一(日本医科大学)

**第61回日本心臓病学会**

会 期：2013年 9 月20日(金)～22日(日)  
 会 場：ホテル日航熊本, 他(熊本市)  
 会 長：小川久雄(熊本大学循環器内科)

**第54回日本脈管学会**

会 期：2013年10月10日(木)～12日(土)  
 会 場：東京ステーションコンファレンス(千代田区)  
 会 長：一色高明(帝京大学内科)

**第30回日本心電学会**

会 期：2013年10月11日(金)～12日(土)  
 会 場：青森市文化会館(青森市)

会 長：奥村 謙(弘前大学循環呼吸腎臓内科学)

**第66回日本胸部外科学会**

会 期：2013年10月16日(水)～19日(土)  
 会 場：仙台国際センター(仙台市)  
 会 長：近藤 丘  
 (東北大学加齢医学研究所呼吸器外科学)

**第36回日本高血圧学会**

会 期：2013年10月24日(木)～26日(土)  
 会 場：大阪国際会議場(大阪市)  
 会 長：河野雄平  
 (国立循環器センター内科高血圧腎臓部門)

**第17回日本心不全学会**

会 期：2013年11月28日(木)～30日(土)  
 会 場：大宮ソニックシティー(さいたま市)  
 会 長：百村伸一  
 (自治医科大学附属さいたま医療センター循環器科)

**第27回日本冠疾患学会**

会 期：2013年12月13日(金)～14日(土)  
 会 場：アバローム紀の国(和歌山市)  
 会 長：(内科系)赤阪隆史  
 (和歌山県立医科大学循環器内科)  
 (外科系)岡村吉隆  
 (和歌山県立医科大学第一外科)

**第44回日本心臓血管外科学会**

会 期：2014年 2 月19日(水)～21日(金)  
 会 場：ホテル日航熊本他(熊本市)  
 会 長：川筋道雄(熊本大学心臓血管外科)

**3. 関連学会**

(自己申告方式／1 単位)

※今後、会期および会場などの変更が生じる場合があります。詳しくは直接各学会事務局へお問い合わせください。

**第56回日本腎臓学会**

会 期：2013年 5 月10日(金)～12日(日)  
 会 場：東京国際フォーラム(千代田区)  
 会 長：富野康日己(順天堂大学腎臓内科)

**第86回日本超音波医学会**

会 期：2013年 5 月24日(金)～26日(日)  
 会 場：大阪国際会議場(大阪市)  
 会 長：増山 理(兵庫医科大学循環器内科)

**第55回日本老年医学会**

会 期：2013年 6 月 4 日(火)～ 6 日(木)  
 会 場：大阪国際会議場・リーガロイヤル NCB・  
 リーガロイヤルホテル・  
 大阪大学中之島センター(大阪市)  
 会 長：三木哲郎(愛媛大学加齢制御内科学)

**第34回日本循環制御医学会**

会 期：2013年 6 月 7 日(金)～ 8 日(土)  
 会 場：福井県民ホール, AOSSA 8F(福井市)  
 会 長：重見研司  
 (福井大学器官制御学麻醉・蘇生領域)

**第38回日本睡眠学会**

会 期：2013年 6月27日(木)～28日(金)  
会 場：秋田キャッスルホテル／秋田県民会館／  
にぎわい交流館あう(秋田市)  
会 長：清水徹男(秋田大学病態制御医学系精神科学)

**第23回日本心臓核医学会**

会 期：2013年 6月28日(金)～29日(土)  
会 場：東京コンファレンスセンター・品川(品川区)  
会 長：山科 章(東京医科大学内科学第二)

**第52回日本生体医工学会**

会 期：2013年 7月 3日(水)～ 7日(日)  
会 場：大阪国際会議場(大阪市)  
会 長：牧川方昭(立命館大学理工学部)

**第50回記念日本臨床生理学会**

会 期：2013年11月 8日(金)～ 9日(土)  
会 場：シェーンバッハ・サポー(砂防会館別館)  
(千代田区)

会 長：坂本長逸(日本医科大学消化器内科学)

**第53回日本核医学会**

会 期：2013年11月 8日(金)～10日(日)  
会 場：福岡国際会議場(福岡市)  
会 長：桑原康雄(福岡大学病院放射線第二)

**第41回日本集中治療医学会**

会 期：2014年 2月27日(木)～ 3月 1日(土)  
会 場：京都国際会議場(京都市)  
会 長：氏家良人

(岡山大学医歯薬学総合研究科救急医学)

**4. 医学会総会**

(専門医単位／5単位)

**第29回日本医学会総会**

会 期：2015年 4月11日(土)～13日(月)  
会 場：国立京都国際会館,  
グランドプリンスホテル京都, 他  
会 頭：井村裕夫(京都大学名誉教授)

**5. 本会指定の学術集会・学術講演会(国際会議)**

(自己申告方式／2単位)

上記5. および6. の「指定研修集会制度」は2012年3月をもって終了しました。

自己申告区分として単位申請可能な会については、学会HPにてご確認ください。

**6. 国際学会等**

(自己申告方式／2単位)

- ACC Annual Meeting
- AHA Scientific Sessions
- APCC
- ESC Congress
- WCC Scientific Sessions

※詳細については海外学会情報をご覧ください。

**海外学会情報**

**ESC Congress 2013**

会 期：2013年 8月31日(土)～ 9月 4日(水)  
会 場：Amsterdam(Netherlands)  
U R L : <http://www.escardio.org/>

会 場：Dallas(U.S.A)  
U R L : <http://www.americanheart.org/>

**AHA Scientific Sessions 2013**

会 期：2013年11月16日(土)～20日(水)

**ACC Annual Scientific Session**  
会 期：2014年 3月29日(土)～31日(月)  
会 場：Washington, DC(U.S.A)  
U R L : <http://www.cardiosource.org/>

**その他の学会開催情報**

**The 14th CTO Club**

会 期：2013年 5月 9日(木)～10日(金)  
会 場：ウインクあいち  
問合先：〒440-0851 愛知県豊橋市前田南町1-1-5 2E  
Tel. 0532-57-1276 Fax. 0532-52-2883  
E-mail: [cto@heartorg.gr.jp](mailto:cto@heartorg.gr.jp)  
URL: <http://www.cct.gr.jp/ctoclub/index.html>

会 場：都市センターホテル(千代田区)  
2. ソルト・サイエンスシンポジウム2013  
会 期：2013年10月 8日(火)  
会 場：東京工業大学蔵前会館くらまえホール  
(目黒区)

テーマ：塩の科学と応用  
1・2とも参加料は無料。参加希望者は財団にファックス・メール等で事前に申込

**公益財団法人ソルト・サイエンス研究財団**

1. 第25回助成研究発表会  
会 期：2013年 7月17日(水)

問合先：公益財団法人ソルト・サイエンス研究財団  
Tel. 03-3497-5711 Fax. 03-3497-5712  
E-mail: [saltscience@saltscience.or.jp](mailto:saltscience@saltscience.or.jp)

URL: <http://www.saltscience.or.jp>

**日本組織細胞化学会**

**第38回組織細胞化学講習会**

会期：2013年8月1日(木)～3日(土)

会場：東京大学伊藤国際学術研究センター  
伊藤謝恩ホール

実行委員長：小澤一史

(日本医科大学解剖学・神経生物学分野)

問合せ先：〒113-8602 東京都文京区千駄木1-1-5

第38回組織細胞化学講習会実行委員会事務局

Tel. 03-3822-2131(内)5320 Fax. 03-5685-6640

E-mail: [info\\_38kjshe@nacos.com](mailto:info_38kjshe@nacos.com)

URL: <http://www3.nacos.com/kjshe/>

**研究助成**

**公益財団法人福田記念医療技術振興財団第24回(平成25年度)研究助成等募集**

(公財)福田記念医療技術振興財団では、MEを利用した医療技術に関する研究助成を行っており、4月1日より次のとおり募集を行う。

公募事業

①研究助成

- 1) 個人研究：100万円/件を限度に計6件
- 2) 共同研究：200万円/件を限度に計5件

②国際交流助成

- 1) 研究留学：100万円/件を限度に計4件
- 2) 国際会議出席：30万円/件を限度に計4件
- 3) 海外からの研究者招聘：100万円/件を限度に計4件

③論文表彰(副賞50万円)：2件

応募締切(当日消印有効)

- ①については2013年4月26日
- ②については前期分2013年4月26日、後期分2013年12月31日
- (注)国際交流前期分は、出発が2013年7月1日から2014年2月28日までの募集
- ③については2013年12月31日

応募方法：財団所定の申請書に記載し、書留で事務局宛に送付

問合せ先：〒113-8570 東京都文京区湯島2-31-20  
フクダ電子(株)春木町ビル内  
公益財団法人 福田記念医療技術振興財団事務局  
Tel. 03-5684-0288 Fax. 03-5684-0268  
URL: <http://www.fukudakinen.or.jp>

**2013年度(第11回)日本心臓財団・アステラス・ファイザー「動脈硬化 Update」研究助成募集要項**

研究テーマ：動脈硬化領域における基礎と臨床および疫学

助成対象：動脈硬化領域における上記テーマの研究を日本国内で現在行っている研究者で、今後その研究が著しい成果を期待される研究者に対して、公募により助成を行う

助成金：最優秀研究1件(200万円)、優秀研究2件(100万円)、奨励研究2件(30万円)

応募資格：

- ①原則として個人研究
- ②1973年4月1日以降に生まれた者
- ③臨床教室およびそれに準ずる施設
- ④同一研究テーマで他の助成を受けた者、研究発表会当日に応募者本人が口演不可能な者、前年度の助成対象者、応募研究が主として海外における研究で得られた成果である者は応募できない
- ⑤原則として日本国内の研究施設に所属する者に限る
- ⑥倫理上問題となることが予想される研究については、所属施設の倫理委員会の承認を得ていることを示す書類のコピーを添付する

応募方法：下記事務局から応募書類を入手、または日本心臓財団のホームページ(<http://www.jhf.or.jp/josei/update/>)からダウンロード

応募締切：2013年5月10日(金)必着

問合せ先：〒102-0073 東京都千代田区九段北1-12-4  
(株)メディカル・ジャーナル社内  
日本心臓財団・アステラス・ファイザー「動脈硬化 Update」研究助成事務局  
Tel. 03-3265-5803 Fax. 03-3265-5820

**公益財団法人成人血管病研究振興財団平成25年度賞募集**

(1) 井村臨床研究賞(第10回)

趣旨：人、特に患者を対象とした成人血管病に関する臨床研究(patient-oriented research)で、

- ①基礎研究の成果の臨床への橋渡し研究(translational research)
- ②疾患の成因や病態生理の解明
- ③疾患の新しい診断・治療・予防法の開発

などの分野ですぐれた成果をあげた国内の研究者または研究グループに贈呈

贈呈数：1名または1研究グループ

- 内容：①賞状  
②賞牌(ゴールド・メダル)  
③副賞(研究助成金300万円)

応募締切：2013年5月31日(当日消印有効)

- 応募規定：①他薦に限る  
②研究分野：上記趣旨のとおり  
③推薦書：財団規定の用紙により作成し、

財団事務局に送付。規定用紙は事務局に  
文書によって請求。

授与式：2013年12月上旬，神戸市内。なお，同日は神  
戸成人血管病シンポジウムを開催し，そのプ  
ログラム中に井村賞受賞記念特別講演を予定  
するとともに，医学誌「最新医学」に受賞記  
念論文も掲載いただく

(2) 井村臨床研究奨励賞(第10回)

趣 旨：人，特に患者を対象とした成人血管病に関す  
る臨床研究(patient-oriented research)で，

- ①基礎研究の成果の臨床への橋渡し研究  
(translational research)
- ②疾患の成因や病態生理の解明
- ③疾患の新しい診断・治療・予防法の開発  
などの分野で注目すべき優秀な研究業績をあ  
げている国内の45歳未満の研究者に対し，そ  
の将来の発展を期待して贈呈

贈呈数：3名以内

- 内 容：①賞状  
②賞牌(シルバー・メダル)  
③副賞(研究助成金50万円)

受付期間：2013年4月1日～5月31日(当日消印有効)

応募規定：

- ①自薦，他薦とも可。但し自薦の場合は所属責任者  
の氏名，印を要す
- ②当財団の規定用紙を請求し，同用紙の指定する内  
容を記入する
- ③候補者は，2013年年3月31日現在で45歳未満であ  
ること

授与式：2013年12月上旬，神戸市内。また，医学誌  
「最新医学」に受賞記念論文も掲載いただく  
予定

(3) 岡村臨床研究奨励賞(第28回)

趣 旨：高血圧，動脈硬化，糖尿病など，成人血管病  
の成因，予防，治療に関する基礎的研究にあ  
たる40歳未満の研究者で，注目すべき優秀な  
研究業績をあげている研究者に，その将来の  
発展を期待して贈呈

贈呈数：3名以内

- 内 容：①賞状  
②賞牌(シルバー・メダル)  
③副賞(研究助成金50万円)

受付期間：2013年4月1日～5月20日(当日消印有効)

応募規定：

- ①自薦，他薦とも可。但し自薦の場合は所属責任者  
の氏名，印を要す
- ②当財団の規定用紙を請求し，同用紙の指定する内  
容を記入する
- ③候補者は，2013年年3月31日現在で40歳未満であ  
ること
- ④過去の受賞者を除く

授与式：2013年9月6日，東京で開催の第49回高血圧

関連疾患モデル学会学術総会会場で行われる  
予定

問合せ：〒606-8413 京都市左京区浄土寺下馬場町86  
国際健寿ビル1階  
公益財団法人成人血管病研究振興財団  
Tel. 075-761-2381 Fax. 075-761-2382

中山人間科学振興財団平成25年度募集要項

本年度テーマ「運動の生物科学」

1. 中山賞(1名300万円)  
選考基準：本年度テーマに関する人間の科学について，  
優れた業績を残した研究者であること。推薦  
が必要
2. 奨励賞(1名100万円)  
選考基準：本年度テーマに関する人間の科学について，  
独創的な研究をしていること。推薦が必要。  
将来有望な研究者で，応募締め切り時45歳未  
満であること
3. 研究助成(若干名50～200万円)  
選考基準：本年度テーマに関する人間の科学について  
の独創的な研究が対象

4. 国際交流助成

- ①海外渡航助成(若干名10～50万円)
- ②海外研究者受入助成(若干名10～50万円)

選考基準：人間の科学に関する研究者であること。人  
間の科学の国際的な振興に役立つこと。将来  
有望な研究者であること。当該年度中に渡航  
・招聘の予定があること

応募期間(1～4とも)：2013年4月15日～6月15日

問合せ：〒113-8666 東京都文京区白山1-25-14 中山  
書店内  
公益財団法人中山人間科学振興財団事務局  
Tel. 03-5804-2911 Fax. 03-5804-2912  
URL: <http://www.nakayamashoten.co.jp/zaidan>

公益信託循環器学研究振興基金平成25年度募集要項

1. 研究助成  
研究課題：心臓血管疾患の機序・診断・治療・予防に  
関する基礎的・臨床的研究
- ①動脈硬化と perivascular adipocyte の関連性に関  
する研究
- ②(循環器系)生活習慣病とエピジェネティクス
- ③マイクロRNAによる循環器疾患の診断，治療
- ④新しい視点から見た不整脈治療
- ⑤末梢動脈疾患の診断と治療に関する研究
- ⑥慢性心不全に対する運動療法の効果に関する研究
- ⑦循環器疾患の予防・治療と QOL(Quality of life)
- ⑧東日本大震災被災地域における循環器病医療
- ⑨その他

応募資格：日本国内で研究を行う40歳以下の研究者で，  
国籍は不問。但し，教授は除く

助成額：原則200万円/件，総額1,400万円以内

研究期間：2年間

受賞者の義務・条件：

- ①授与式(2014年2月開催)への出席
  - ②研究発表会(2016年2月開催)での研究発表
  - ③研究報告書・助成金使用報告書・領収書原本(委任経理の場合コピー可)の提出
  - ④大学等の委任経理における事務経費の徴収は不可
2. 褒賞：内田賞

研究対象：日本国内で行った循環器分野の研究でかつ、平成24年度に学術誌に掲載された論文

対象研究者：論文のファーストオーサーで、応募時45歳以下の研究者。但し、教授・准教授は除く

賞金額：原則500万円/件、総額1000万円以内

受賞者の義務：授与式(2014年2月開催)での研究発表(スライド使用・7分程度)

募集期間(研究助成・褒賞ともに)：2013年6月3日(月)～7月31日(水)(必着)

応募方法：下記URLから指定用紙をダウンロードすること

問合せ先：〒105-8574 東京都港区芝3-33-1

三井住友信託銀行 リテール受託業務部公益信託第一チーム循環器学研究振興基金申請口  
Tel. 03-5232-8908 Fax. 03-5232-8919

URL: <http://www.smtb.jp/personal/entrustment/management/public/example/list.html>

## そ の 他

### 財団法人東京顕微鏡

#### 遠山椿吉記念健康予防医療賞

対象：日本を拠点に活動する個人の研究者または研究グループ

応募期間：2013年4月1日～6月30日(消印有効)

副賞：100万円

問合せ先：〒102-8288 東京都千代田区九段南4-8-32

財団法人東京顕微鏡院 公益事業室

Tel. 03-5210-6651 Fax. 03-5210-6671

E-mail: [mitsu@kenko-kenbi.or.jp](mailto:mitsu@kenko-kenbi.or.jp)

URL: <http://www.kenko-kenbi.or.jp/>

### 公益財団法人持田記念医学薬学振興財団

1. 第31回(平成25年度)研究助成金交付対象者募集要項

趣旨：下記の研究を助成し、もってわが国の医療及び国民の保健の向上に資することを目的とする。

- ①バイオ技術を基盤とする先端医療に関する研究
- ②バイオ技術を基盤とするゲノム機能/病態解析に関する研究
- ③免疫/アレルギー/炎症の治療ならびに制御に関する研究
- ④循環器/血液疾患の病態解析/治療制御に関する研究
- ⑤創薬・創剤の基盤に関する研究
- ⑥創薬のその臨床応用に関する研究

助成対象：上記の研究対象の領域に属する研究を国内において行う研究者で満45歳未満の者(誕生日が昭和43年4月1日以降)。なお平成22年度以降に本財団の研究助成金受給者は本年度の応募受付対象としない。また、学部・大学院等の学生ならびに企業所属の研究者は原則として応募受付対象としない。

研究助成金額：1件300万円(総額2億4,000万円)

応募締切：2012年6月17日(金)メール申請締切

2. 第30回(平成25年度)留学補助金交付対象者募集要項

趣旨：下記の研究を助成し、もってわが国の医療及び国民の保健の向上に資することを目的とする。

- ①バイオ技術を基盤とする先端医療に関する研究
- ②バイオ技術を基盤とするゲノム機能/病態解析に関する研究
- ③免疫/アレルギー/炎症の治療ならびに制御に関する研究
- ④循環器/血液疾患の病態解析/治療制御に関する研究
- ⑤創薬・創剤の基盤に関する研究
- ⑥創薬の臨床応用に関する研究

助成対象：上記の研究対象の領域に属する研究を国内において行っており、国内又は海外留学を2013年4月1日から2014年3月31日の間に開始し、1年以上留学する者。ただし満45歳未満の者(誕生日が昭和43年4月1日以降)。なお平成22年度以降に本財団の留学助成金を受領した者は本年度の応募受付対象としない。また、学部・大学院等の専門分野未確定の学生ならびに企業所属の研究者についても応募受付対象としない。

研究助成金額：1件50万円(総額1,000万円)

応募締切：2012年6月17日(金)メール申請締切

3. 設立30周年記念研究助成金交付対象者募集

趣旨：下記の研究を助成し、もってわが国の医療及び国民の保健の向上に資することを目的とする。

- ①バイオ技術を基盤とする先端医療に関する研究
- ②バイオ技術を基盤とするゲノム機能/病態解析に関する研究
- ③免疫/アレルギー/炎症の治療ならびに制御に関する研究

する研究

④循環器／血液疾患の病態解析／治療制御に関する研究

⑤創薬・創剤の基盤に関する研究

⑥創薬のその臨床応用に関する研究

助成対象：財団設立30周年記念事業の一環として上記の研究対象の領域に属する研究を国内において行う研究者で、満45歳未満の者(誕生日が昭和43年4月1日以降)、平成22年度以降に本財団の研究助成金受給者も申請可能。なお、学部・大学院等の学生ならびに企業所属の研究者は原則として応募受付対象としない。

研究助成金額：1件につき3年間で1,000万円(総額6,000万円)

応募締切：2012年6月17日(金)メール申請締切

問合せ先：〒160-0003 東京都新宿区本塩町7-6 四谷ワイズビル

公益財団法人持田記念医学薬学振興財団 事務局

Tel. 03-3357-1282(代表) Fax. 03-3357-1264

E-mail: zaidan@mochida.co.jp

URL: <http://www.mochida.co.jp/zaidan/>

# ACLS 講習会情報

循環器救急医療委員会

AHA ACLS プロバイダーコース受講のためには AHA BLS ヘルスケアプロバイダーコースの修了が必要です。未受講の方は、まずはこのコースを受講してください。詳しくはホームページ (<http://www.j-circ.or.jp/>) の「BLS・ACLS 講習会情報」をご参照ください。

日本循環器学会は2007年3月に、AHAと契約して国際トレーニングセンター(ITC)となり、循環器救急医療委員会(旧称：心肺蘇生法委員会)の中の教育部門としてECC(緊急心血管治療)プログラムを独自に推進させていく事になり、JCS-ITCコースとして各支部において開催致します。

私たちは日本での心臓突然死の予防と心停止の救命率の改善およびそれによる後遺症を減らすことを目標に掲げます。それには地域での「救命の連鎖」の確立が重要となります。そのためには、会員すべてが心肺蘇生法トレーニングを受け、医師・コメディカル・一般市民への指導者になること、そして特に循環器専門医は標準的な二次救命処置(Advanced Cardiovascular Life Support, ACLS)を習得し、循環器救急医療におけるチームリーダーになることが必要です。また、循環器専門医の受験資格にAHA-ACLS修了が必須となっています。このトレーニングコースは、アメリカ心臓協会(AHA)がこれまで築き上げてきたトレーニングプログラムを用いて実施されます。下記のコースに積極的に参加いただき、地域での「救命の連鎖」確立を推進していただける方を募集します。各コースの受講者募集の詳細は日本循環器学会ホームページ(<http://www.j-circ.or.jp/>)の「ACLS講習会情報」にてご確認ください。

**受講料 32,000円**

**受講対象者：**原則として医療従事者(医師・看護師・救急救命士など日本国内での医療国家試験有資格者に限定します)

**受講申し込み方法：**当会ホームページ「BLS・ACLS講習会情報」のページからご希望のコースをお選びいただき、オンラインフォームにてお申し込みください。以下のコーススケジュールの募集締め切りは延長される場合がありますので、ホームページにてご確認ください。

## JCS-ITC2013/04/27-28 関東甲信越支部 国立病院機構東京医療センター AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2013年4月27日(土)～28日(日)の2日間

会場：国立病院機構東京医療センター(東京都目黒区)

受講募集人数：15名

コースディレクター：布施 淳(国立病院機構東京医療センター循環器科)

4月17日(水)まで募集(延長の場合もあり)

問い合わせ：

日本循環器学会関東甲信越支部 BLS・ACLS 講習会事務局 佐々木和也

Phone: 019-652-5406

Fax: 019-604-8244

E-mail: [aclsjcskanto@acls-jcs.org](mailto:aclsjcskanto@acls-jcs.org)

## JCS-ITC2013/05/11-12 関東甲信越支部 国立病院機構東京医療センター AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2013年5月11日(土)～12日(日)の2日間

会場：国立病院機構東京医療センター(東京都目黒区)

受講募集人数：15名

コースディレクター：布施 淳(国立病院機構東京医療センター循環器科)

4月17日(水)まで募集(延長の場合もあり)

問い合わせ：

日本循環器学会関東甲信越支部 BLS・ACLS 講習会事務局 佐々木和也

Phone: 019-652-5406

Fax: 019-604-8244

E-mail: [aclsjcskanto@acls-jcs.org](mailto:aclsjcskanto@acls-jcs.org)

**JCS-ITC2013/05/11-12関東甲信越支部相澤病院ヤマサホール AHA ACLS プロバイダーコース**

開催日：2013年5月11日(土)～12日(日)の2日間  
会場：相澤病院ヤマサホール(長野県松本市本庄)  
受講募集人数：18名  
コースディレクター：宮澤 泉(長野赤十字病院循環器内科)  
4月12日(金)まで募集(延長の場合もあり)  
問い合わせ：  
日本循環器学会関東甲信越支部 BLS・ACLS 講習会事務局 佐々木和也  
Phone: 019-652-5406  
Fax: 019-604-8244  
E-mail: aclsjcskanto@acls-jcs.org

**JCS-ITC2013/05/11-12近畿支部和歌山県立医科大学 AHA ACLS プロバイダーコース**

開催日：2013年5月11日(土)～12日(日)の2日間  
会場：和歌山県立医科大学 臨床技能研修センター(和歌山県和歌山市紀三井寺)  
受講募集人数：12名  
コースディレクター：加藤正哉(和歌山県立医科大学)  
4月14日(日)まで募集(延長の場合もあり)  
問い合わせ：  
日本循環器学会近畿支部事務局 山口良彦  
Phone: 075-212-2015  
Fax: 075-212-0691  
E-mail: kyoto@congre.co.jp

**JCS-ITC2013/05/11-12東海・北陸支部合同豊田厚生病院 AHA ACLS プロバイダーコース**

開催日：2013年5月11日(土)～12日(日)の2日間  
会場：豊田厚生病院(愛知県豊田市浄水町)  
受講募集人数：18名  
コースディレクター：小林修一(豊田厚生病院)  
4月22日(月)まで募集(延長の場合もあり)  
問い合わせ：  
日本循環器学会東海支部事務局 渡辺裕一  
Phone: 052-950-3365  
Fax: 052-950-3370  
E-mail: jcs-tokai@congre.co.jp

**JCS-ITC2013/05/18-19関東甲信越支部獨協医科大学創立30周年記念館 AHA ACLS プロバイダーコース**

開催日：2013年5月18日(土)～19日(日)の2日間  
会場：獨協医科大学 創立30周年記念館(栃木県下都賀郡壬生町)  
受講募集人数：12名  
コースディレクター：菊地 研(獨協医科大学心臓・血管内科)  
4月23日(火)まで募集(延長の場合もあり)  
問い合わせ：  
日本循環器学会関東甲信越支部 BLS・ACLS 講習会事務局 佐々木和也  
Phone: 019-652-5406  
Fax: 019-604-8244  
E-mail: aclsjcskanto@acls-jcs.org

**JCS-ITC2013/05/18-19東海・北陸支部合同市立島田市民病院 AHA ACLS プロバイダーコース**

開催日：2013年5月18日(土)～19日(日)の2日間  
会場：市立島田市民病院(静岡県島田市野田)  
受講募集人数：12名  
コースディレクター：鈴木秀一(名古屋医療センター)  
4月15日(月)まで募集(延長の場合もあり)  
問い合わせ：  
日本循環器学会東海支部事務局 渡辺裕一  
Phone: 052-950-3365  
Fax: 052-950-3370  
E-mail: jcs-tokai@congre.co.jp

**JCS-ITC2013/05/18-19東北支部弘前大学医学部附属病院 AHA ACLS プロバイダーコース**

開催日：2013年5月18日(土)～19日(日)の2日間  
会場：弘前大学医学部附属病院 スキルズラボ(青森県弘前市本町)  
受講募集人数：12名  
コースディレクター：花田裕之(弘前大学医学部)  
5月9日(木)まで募集  
問い合わせ：  
弘前大学医学部大学院医学研究科 救急災害医学講座 花田裕之  
Phone: 0172-39-5375  
Fax: 0172-39-5316  
E-mail: hanada68@cc.hirosaki-u.ac.jp

**JCS-ITC2013/05/25-26関東甲信越支部新潟大学 AHA ACLS プロバイダーコース**

開催日：2013年5月25日(土)～26日(日)の2日間  
会場：新潟大学 旭町総合研究棟4階臨床技能研修センター(新潟県新潟市中央区)  
受講募集人数：18名  
コースディレクター：船崎俊一(済生会川口総合病院)  
5月1日(水)まで募集  
問い合わせ：  
日本循環器学会関東甲信越支部 BLS・ACLS 講習会事務局 佐々木和也  
Phone: 019-652-5406  
Fax: 019-604-8244  
E-mail: aclsjcskanto@acls-jcs.org

**JCS-ITC2013/06/08-09関東甲信越支部国立病院機構東京医療センター AHA ACLS プロバイダーコース**

開催日：2013年6月8日(土)～9日(日)の2日間  
会場：国立病院機構東京医療センター(東京都目黒区)  
受講募集人数：15名  
コースディレクター：布施 淳(国立病院機構東京医療センター循環器科)  
5月15日(水)まで募集  
問い合わせ：  
日本循環器学会関東甲信越支部 BLS・ACLS 講習会事務局 佐々木和也  
Phone: 019-652-5406  
Fax: 019-604-8244  
E-mail: aclsjcskanto@acls-jcs.org

**JCS-ITC2013/06/08-09東海・北陸支部合同静岡県立総合病院 AHA ACLS プロバイダーコース**

開催日：2013年6月8日(土)～9日(日)の2日間  
会場：静岡県立総合病院 6階教育研修センター(静岡県静岡市葵区北安東)  
受講募集人数：18名  
コースディレクター：野々木宏(静岡県立総合病院)  
5月13日(月)まで募集  
問い合わせ：  
日本循環器学会東海支部事務局 渡辺裕一  
Phone: 052-950-3365  
Fax: 052-950-3370  
E-mail: jcs-tokai@congre.co.jp

**JCS-ITC2013/06/15-16関東甲信越支部自治医科大学 AHA ACLS プロバイダーコース**

開催日：2013年6月15日(土)～16日(日)の2日間  
会場：自治医科大学 20周年記念棟 7F シミュレーションセンター(栃木県下野市薬師寺)  
受講募集人数：12名  
コースディレクター：菊地 研(獨協医科大学心臓・血管内科)  
5月21日(火)まで募集(延長の場合もあり)  
問い合わせ：  
日本循環器学会関東甲信越支部 BLS・ACLS 講習会事務局 熊谷幸恵・佐々木和也  
Phone: 019-652-5406  
Fax: 019-604-8244  
E-mail: aclsjcskanto@acls-jcs.org

**JCS-ITC2013/06/22-23九州支部鹿児島大学病院 AHA ACLS プロバイダーコース**

開催日：2013年6月22日(土)～23日(日)の2日間  
会場：鹿児島大学病院 保健学科5階(鹿児島県鹿児島市桜ヶ丘)  
受講募集人数：12名  
コースディレクター：平井信孝(熊本地域医療センター循環器内科)  
2013年5月19日(日)まで募集  
問い合わせ：  
熊本地域医療センター 平井信孝  
Phone: 096-363-3311  
Fax: 096-362-0222  
E-mail: nobutaka@krmc.or.jp

**JCS-ITC2013/06/29-30中国支部岡山赤十字病院 AHA ACLS プロバイダーコース**

開催日：2013年6月29日(土)～30日(日)の2日間  
会場：岡山赤十字病院 研修室(岡山県岡山市北区青江)  
受講募集人数：12名  
コースディレクター：齋藤博則(岡山赤十字病院循環器科)  
2013年6月11日(火)まで募集  
問い合わせ：  
山口大学大学院医学系研究科器官病態内科学内(第二内科) 岡部英美  
Phone: 0836-22-2248  
Fax: 0836-22-2246  
E-mail: ninai@yamaguchi-u.ac.jp

### ACLS プロバイダー資格更新コース

受講料：18,000円

受講要件：

1. 有効期限内の BLS ヘルスケアプロバイダーカードを有すること
2. 有効期限内の ACLS プロバイダーカードを有すること

追補 1) 有効期限を過ぎている ACLS カードを有している場合、更新コースの受講は可能です。

ただし、実技試験、筆記試験ともに補習や再試験の機会はありませんので、万一、両試験に1回で合格しない場合には、ACLS 更新コースの再受講は不可となっております。

改めて2日間の通常の ACLS コースを受講いただくこととなります(受講料も新たに必要となります)。

追補 2) AHA ACLS コースをこれまで一度も受講したことがない場合には、ACLS 更新コースの受講は原則として認められておりません。

### JCS-ITC2013/05/19関東甲信越支部国立病院機構東京医療センター AHA ACLS プロバイダー更新コース

開催日：2013年5月19日(日)の1日間

会場：国立病院機構東京医療センター(東京都目黒区)

受講募集人数：8名

コースディレクター：布施 淳(国立病院機構東京医療センター循環器科)  
4月30日(水)まで募集

問い合わせ：

日本循環器学会関東甲信越支部 BLS・ACLS 講習会事務局 佐々木和也

Phone: 019-652-5406

Fax: 019-604-8244

E-mail: aclsjcskanto@acls-jcs.org

## 映像教材販売のご案内

### 喫煙防止映像教材販売のご案内

禁煙推進委員会

ご承知のように、喫煙は喫煙者のみならず受動喫煙者にとっても、虚血性心疾患をはじめとする循環器疾患、呼吸器疾患、がん、その他の疾患の発症・進展にとって重要な危険因子です。禁煙推進委員会では、医療現場からのメッセージを込めた『今から始める喫煙防止教育2版』という喫煙防止映像教材(DVD)を制作し、その販売をしておりますのでご案内申し上げます。

会員・非会員を問わずご購入いただけます。日本循環器学会禁煙推進委員会の意図と願いをご理解いただき、是非ご活用いただければ幸いです。

なおご購入のお申し込み・お問い合わせは、下記の特約代理店までお願い致します。

#### 〈内容〉

- Part. 1：たばこ， やめてね  
(小学校1， 2年生用 / 6分)
- Part. 2：タバコのけむりはあぶないよ!!  
(小学校3， 4年生用 / 10分)
- Part. 3：タバコって本当はどんなもの？  
(小学校5， 6年生用 / 12分)
- Part. 4：考えてみよう タバコと健康  
(中学生・高校生用 / 14分)
- Part. 5：タバコか健康か あなたはどちらを選びますか  
(一般・大学生用 / 17分)

#### 〈価格〉

1,995円

(税込, 送料別)

#### 〈購入お申し込み・お問い合わせ先〉

(特約代理店)

(株)少年写真新聞社 メディア開発部

TEL : 03-3261-4001

FAX : 03-5276-7785

URL : <http://www.schoolpress.co.jp/home.html>



## 教育研修映像販売のご案内

教育研修委員会

下記の教材1タイトルご購入につき、専門医研修単位が3単位加算されます。本体についている返信はがきに必要事項をご記入の上、50円切手を貼ってご郵送ください。ただし、単位の付加は、ご購入ご本人のみに限りません。単位受付は同じタイトルにつき1回限りの受付となりますのでご了承ください。

※なお、単位申請ハガキの受付には期限があります。詳細は下記の各DVD単位申請期間をご確認ください。

ご購入の申し込みは、日循ホームページ(<http://www.j-circ.or.jp/>)の「刊行物購入のご案内」からオンラインでお受けしています。もしくはE-mail ([meeting@j-circ.or.jp](mailto:meeting@j-circ.or.jp))かファックス(075-213-1675)で、ご希望のタイトル、VHSかDVD(一部CD-ROM)か、氏名、会員番号、お届け先住所、電話番号をお書き添えの上、お申込みください。

- 循環器研修ビジュアルシリーズ(VHS/CD-ROM 各巻 ¥9,975 日循会員価格 ¥6,300 税込)
- 2004年度製作分(VHS/CD-ROM) 単位申請期日：2012年5月31日にて終了。単位付与不可
  - Vol. 6. 「循環器 Physical Examination の実際」
  - 監修：吉川 純一（大阪市立大学循環器病態内科学）
- 2005年度製作分(VHS/DVD) 単位申請期日：2012年5月31日にて終了。単位付与不可
  - Vol. 7. 「循環器病の画像診断—心臓 CT, MRI」
  - 監修：栗林 幸夫（慶應義塾大学放射線診断科）
  - Vol. 8. 「大動脈・末梢血管疾患の超音波診断」
  - 監修：鄭 忠和（鹿児島大学循環器呼吸器代謝内科学）
- 2006年度製作分(VHS/DVD) 単位申請期日：2012年5月31日にて終了。単位付与不可
  - Vol. 9. 「メタボリックシンドロームの診断と基準」
  - 監修：島本 和明（札幌医科大学内科学第二）
  - Vol.10. 「カテーテルアブレーションによる不整脈治療の実際」
  - 監修：相澤 義房（新潟大学医歯学総合研究科循環器学分野）
- 2007年度製作分(VHS/DVD) 単位申請期日：2012年5月31日にて終了。単位付与不可
  - Vol.11. 「弁膜症の内科治療と手術のタイミング」
  - 監修：吉田 清（川崎医科大学循環器内科）
  - Vol.12. 「急性冠症候群の治療戦略」
  - 監修：木村 剛（京都大学循環器内科）
- 2008年度製作分(DVDのみ) 単位申請期日：2012年5月31日にて終了。単位付与不可
  - Vol. 1. 「急性心不全の診断と治療戦略(第2版)」
  - 監修：堀 正二（大阪府立成人病センター）
  - Vol.13. 「大動脈疾患の診断と治療戦略」
  - 監修：上田 裕一（名古屋大学心臓外科学）
  - 栗林 幸夫（慶應義塾大学放射線診断科）
- 2009年度製作分(DVDのみ) 単位申請期日：2012年5月31日にて終了。単位付与不可
  - Vol. 4. 「抗不整脈薬の使い方(Ⅱ)(第2版)」
  - 監修：新 博次（日本医科大学多摩永山病院）
  - Vol.15. 「糖尿病患者のフットケア」
  - 監修：笹嶋 唯博（旭川医科大学第一外科）
- 2010年度製作分(DVDのみ) 単位申請期日：2012年5月31日にて終了。単位付与不可
  - Vol. 2. 「抗不整脈薬の使い方(Ⅰ)(第2版)」
  - 監修：堀江 稔（滋賀医科大学呼吸循環器内科）
  - Vol.14. 「心臓リハビリテーションの新たな展開」
  - 監修：後藤 葉一（国立循環器病研究センター心臓血管内科）

2011年度製作分(DVDのみ) 単位申請期日:2014年3月31日

Vol.3.「慢性心不全の病態をふまえた診断・治療(第2版)」

監修:筒井 裕之(北海道大学循環病態学)

Vol.16.「冠循環の形態的,機能的評価」

監修:赤阪 隆史(和歌山県立医科大学循環器内科)

Vol.18.「補助循環・心臓移植の臨床」

監修:許 俊鋭(東京大学重症心不全治療開発講座)

**New**

2012年度制作分(DVDのみ) 単位申請期日:2015年3月31日

Vol.17「心臓ペーシング治療の現状」

監修:萩原 誠久(東京女子医科大学循環器内科)

原案:真中 哲之(東京女子医科大学循環器内科)

■循環器教育セッション CD-ROM(各回3巻セット ¥9,450 税込)

第33回循環器教育セッション 2005年3月19日(土)~21日(月)

単位申請期日:2012年5月31日にて終了. 単位付与不可

セッション I 新しい高血圧ガイドライン JSH-II

座長:土居 義典(高知大学料年病科・循環器科)

藤田 敏郎(東京大学内科学)

セッション II 心臓弁膜症をいかに診断し,いかに治療するか

座長:吉川 純一(大阪市立大学循環器病態内科学)

川副 浩平(岩手医科大学附属循環器医療センター)

セッション III 冠動脈疾患の治療の進歩—早期及び遠隔成績から—

座長:遠藤 真弘(東京女子医科大学心臓血管外科)

木村 剛(京都大学循環器内科)

第34回循環器教育セッション 2006年3月24日(金)~26日(日)

単位申請期日:2012年5月31日にて終了. 単位付与不可

セッション I 心不全の治療—薬物療法から非薬物療法まで—

座長:矢野 捷介(長崎大学循環制御内科学)

高野 照夫(日本医科大学内科学第一)

セッション II メタボリック・シンドローム—本邦の診断基準—

座長:松澤 佑次(住友病院)

島本 和明(札幌医科大学第二内科)

セッション III 不整脈の治療—薬物療法から非薬物療法まで—

座長:笠貫 宏(東京女子医科大学循環器内科)

児玉 逸雄(名古屋大学環境医学研究所循環器分野)

第35回循環器教育セッション(DVD) 2007年3月15日(木)~17日(土)

単位申請期日:2012年5月31日にて終了. 単位付与不可

セッション I 心筋・血管再生医療の展開

座長:小室 一成(千葉大学循環病態医科学)

室原 豊明(名古屋大学循環器内科学)

セッション II 各学会ガイドラインの比較:リスク重積患者に対する治療法

座長:藤田 敏郎(東京大学腎臓内分泌内科)

代田 浩之(順天堂大学循環器内科)

セッション III ACSのリスク層別化と治療戦略—PCIとCABGを中心に—

単位申請期日:2012年5月31日にて終了. 単位付与不可

座長:幕内 晴朗(聖マリアンナ医科大学心臓血管外科)

西村 重敬(埼玉医科大学循環器内科)

第36回循環器教育セッション(DVD) 2008年3月28日(金)~30日(日)

単位申請期日:2012年5月31日にて終了. 単位付与不可

セッション I 心疾患患者の心臓手術・非心臓手術のリスク評価

座長:吉川 純一(大阪掖済会病院)

上田 裕一(名古屋大学心臓外科)

セッションⅡ 日本における心臓突然死

座長：笠貫 宏（東京女子医科大学循環器内科）  
三田村秀雄（東京都済生会中央病院）

セッションⅢ 糖尿病と循環器疾患

座長：島本 和明（札幌医科大学第二内科）  
犀川 哲典（大分大学循環器病態制御講座）

第37回循環器教育セッション(DVD 4巻セット ¥12,600税込) 2009年3月20日(金)～23日(日)

単位申請期日：2012年5月31日にて終了。単位付与不可

Vol. 1 ビデオライブで見るリスクとベネフィットを考えた治療戦略(1)

1. 「EPS」ビデオライブ

座長：福並 正剛（大阪府立急性期・総合医療センター心臓血管センター）  
松本 万夫（埼玉医科大学国際医療センター心臓内科）

2. 「外科『弁形成術』」ビデオライブ

座長：澤 芳樹（大阪大学外科学講座心臓血管外科）  
宮本 裕治（兵庫医科大学心臓血管外科）

Vol. 2 ビデオライブで見るリスクとベネフィットを考えた治療戦略(2)

1. 「PCI」ビデオライブ

座長：南都 伸介（関西労災病院循環器科）  
一色 高明（帝京大学循環器科）

2. 「EVT」ビデオライブ

座長：南都 伸介（関西労災病院循環器科）  
古森 公浩（名古屋大学血管外科）

Vol. 3 JSH-2009による高血圧の管理と心血管病

座長：荻原 俊男（大阪府立急性期・総合医療センター）  
島本 和明（札幌医科大学第二内科）

Vol. 4 循環器疾患の抗凝固・抗血小板療法

座長：一色 高明（帝京大学循環器科）  
是恒 之宏（国立病院機構大阪医療センター臨床研究部）

第38回循環器教育セッション(DVD 4巻セット ¥12,600税込) 2010年3月5日(金)～7日(日)

単位申請期日：2012年5月31日にて終了。単位付与不可

Vol. 1 ビデオライブで見る最新の心血管疾患カテーテル治療・外科治療(1)

1. 「不整脈電気生理」ビデオライブ

座長：内藤 滋人（群馬県立心臓血管センター）  
静田 聡（京都大学循環器内科）

2. 「外科」ビデオライブ

座長：四津 良平（慶應義塾大学心臓血管外科）  
佐賀 俊彦（近畿大学心臓血管外科）

Vol. 2 ビデオライブで見る最新の心血管疾患カテーテル治療・外科治療(2)

1. 「PCI」ビデオライブ

座長：一色 高明（帝京大学循環器内科）  
木村 剛（京都大学循環器内科）

2. 「末梢血管インターベンション」ビデオライブ

座長：横井 良明（岸和田徳洲会病院循環器内科）  
木村 剛（京都大学循環器内科）

Vol. 3 睡眠時無呼吸症候群と循環器疾患

座長：山科 章（東京医科大学第二内科）  
安藤 真一（福岡県済生会二日市病院循環器内科）

Vol. 4 炎症と循環器疾患

座長：野出 孝一（佐賀大学循環器・腎臓内科）  
竹石 恭知（福島県立医科大学内科学第一講座）

第39回循環器教育セッション DVD-ROM ¥5,000(税込) 2011年8月3日(水)～4日(木)

単位申請期日：2014年3月31日

第39回より DVD-ROM に仕様変更し、1枚のディスクにまとめました。DVD-ROM は家庭用 DVD レコーダーでは再生できませんのでご注意ください。

セッション I ビデオで見る最新の心血管カテーテル治療

1. 心房細動に対するカテーテルアブレーション

座長：熊谷浩一郎 (国際医療福祉大学循環器内科)

山根 禎一 (東京慈恵会医科大学循環器内科)

2. ASD のカテーテル閉鎖術

座長：中西 敏雄 (東京女子医科大学循環器小児科)

高山 守正 (榊原記念病院)

3. ここまで来た胸部ステントグラフト内挿術

座長：吉川 公彦 (奈良県立医科大学放射線医学教室)

加藤 雅明 (森之宮病院心臓血管外科)

セッション II 高齢者における循環器疾患の管理と問題点

座長：苅尾 七臣 (自治医科大学循環器内科学部門)

江頭 正人 (東京大学総合研修センター)

大内 尉義 (東京大学加齢医学講座)

セッション III 心臓手術後のリハビリテーション—内科・外科の連携—

座長：野原 隆司 (北野病院心臓センター)

佐賀 俊彦 (近畿大学心臓血管外科)

第40回循環器教育セッション DVD-ROM ¥5,000(税込) 2012年3月16日(金)～18日(日)

単位申請期日：2014年3月31日

セッション I

1. 心房細動のアブレーション：CFAE 法

座長：Koonlawee Nademanee (Pacific Rim Electrophysiology Research Institute, Los Angeles, USA)

奥村 謙 (弘前大学循環呼吸腎臓内科学)

2. 3D エコーと僧帽弁形成術

座長：尾辻 豊 (産業医科大学第二内科)

川副 浩平 (聖路加国際病院心血管センター心臓血管外科)

3. 大動脈弁狭窄症に対する経カテーテル大動脈弁植込み術

座長：友池 仁暢 (榊原記念病院)

中谷 敏 (大阪大学保健学専攻)

セッション II 重症心不全治療の新しい展開

座長：和泉 徹 (北里大学循環器内科学)

許 俊鋭 (東京大学重症心不全治療開発講座/東京都健康長寿医療センター心臓外科)

セッション III 肺動脈血栓塞栓症の予防・診断・治療

座長：安藤 太三 (藤田保健衛生大学心臓血管外科)

伊藤 正明 (三重大学循環器・腎臓内科学)

※座長所属はセッション開催時のもの。

**New**

第41回循環器教育セッション DVD-ROM ¥5,000(税込) 2013年3月15日(金)～17日(日)

単位申請期日：2015年3月31日

セッション I

1. 心臓 CT/MRI の最新動向

座長：尾崎 行男 (藤田保健衛生大学循環器内科)

吉岡 邦浩 (岩手医科大学放射線医学)

2. 閉塞性肥大型心筋症に対する PTSM

座長：一色 高明 (帝京大学循環器内科)

3. 心房細動アブレーションにおける三次元マッピングの活用  
座長：熊谷浩一郎（福岡山王病院ハートリズムセンター）  
沖重 薫（横浜市立みなと赤十字病院循環器内科）
- セッションⅡ 冠動脈血行再建術—診療ガイドラインを実臨床にいかにかかすか？—  
座長：落 雅美（日本医科大学心臓血管外科）  
住吉 徹哉（榊原記念病院循環器内科）
- セッションⅢ 新しい抗凝固薬の臨床  
座長：後藤 信哉（東海大学循環器内科）  
山下 武志（心臓血管研究所附属病院）



パシフィコ横浜での講演記録

会期：2013年3月15～17日

購入し研修されると専門医研修単位が **3単位** 取得できます。

※単位の付加は、ご購入で本人様のみに限ります。単位受付は同じタイトルにつき一回限りとなりますのでご了承ください。

発行予定  
6月20日

DVD 購入者は  
**WEBでも** ご視聴いただけます!

これ一枚で **43セッション 243** 延べ座長・演者、  
**55時間** 収録!

価格 **5,000円** (送料、税込)

<収録内容>

<p><b>真下記念講演</b> 1セッション</p> <p>MML. Discovery and Development of Statins</p>	<p><b>症例から学ぶ</b> 会長特別企画 (4) 8セッション</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 心房細動にたいする Total Management</li> <li>2. この冠動脈疾患をどうする?</li> <li>3. EBM の実践：この心不全症例にどのように対応するか?</li> <li>4. 治療抵抗性高血圧へのアプローチ</li> <li>5. この弁膜症：あなたならどうする?</li> <li>6. 非心臓手術の術前リスク評価と対応</li> <li>7. 失神・めまいへのアプローチ</li> <li>8. 成人先天性心疾患へのアプローチ</li> </ol>
<p><b>百一賀記念特別講演</b> 1セッション</p> <p>MLC. 医療プロフェッショナルの育成</p>	<p><b>理想的な医療現場とは? —各界からの提言—</b> 会長特別企画 (5) 1セッション</p>
<p><b>会長講演</b> 1セッション</p> <p>CCL. Wonderful Voyage through Intravascular Imaging</p>	<p><b>プレナリーセッション 1～7 全て</b> 7セッション</p> <p>PS1. Beyond LDL：残りリスクを考える PS2. Frontier of the treatment of atrial fibrillation PS3. To Improve Outcomes of Acute Heart Failure Patients: Lessons from Asian and Western Registries PS4. 治療抵抗性高血圧を克服する PS5. New advance in cardiac regenerative medicine —basic research and clinical trial— PS6. 心臓と他臓器のコミュニケーションを探る —臓器連関から考える新しい循環器病治療戦略— PS7. 成人期の川崎病の実態と管理</p>
<p><b>International Honorary Member's Memorial Lectures</b> 1セッション</p>	<p><b>ジョイントシンポジウム 1～4 全て</b> 4セッション</p> <p>JSY1. AHA-JCS Joint Symposium Heart Failure Update 2013 JSY2. ACC-JCS Joint Symposium Cardiac rehabilitation as cardiovascular therapy JSY3. ESC-JCS Joint Symposium Recent Progress in the Understanding, Management and Prevention of Sudden Cardiac Death JSY4. KSC-JCS Joint Symposium Diabetic Coronary Artery Disease in Asia th</p>
<p><b>特別講演</b> 8セッション</p> <p>SL1. Plaque Morphology : Can We Change the (Interventional)Management Paradigms? SL3. Imaging-based Strategies for Detection and Monitoring of Subclinical Cardiovascular Diseases SL4. Advances in Acute Coronary Syndromes SL5. Sudden Cardiac Death: What is New? SL7. High Sensitivity Cardiac Troponins: From re-definition of Acute Myocardial Infarction to Risk Prediction in non-ACS Patients SL8. Difference Between Native Coronary Atherosclerosis, Vein Graft Atherosclerosis, and In-stent Neointimal Hyperplasia SL9. Basic and Clinical Advances in Inflammation in Atherosclerosis SL10. The Interventional Treatment of Atrial Fibrillation</p>	<p><b>Late Breaking Clinical Trials 1,2 全て</b> 2セッション</p> <p>LBCT1. Late Breaking Clinical Trials 1 LBCT2. Late Breaking Clinical Trials 2</p>
<p><b>International Imaging Conference</b> 会長特別企画 (1) 3セッション</p> <p>IIC1. How do we use imaging device before PCI? IIC2. Why do we use imaging device after PCI? IIC3. Clinical application of future imaging technology</p>	<p><b>Late Breaking Cohort Study 1,2,3 全て</b> 3セッション</p> <p>LBCS1. Late Breaking Cohort Study 1 LBCS2. Late Breaking Cohort Study 2 LBCS3. Late Breaking Cohort Study 3</p>
<p>The challenges of translation from discovery to therapy in 21st century cardiovascular medicine (JCS/ISHR joint symposium) 会長特別企画 (2) 1セッション</p>	
<p><b>世界へ翔く循環器医学の発見・発明 “メイド・イン・ジャパン”</b> 会長特別企画 (3) 2セッション</p>	

お申込みはインターネットまたは FAX でもお申込み頂けます。

日本循環器学会ホームページから、又は、[https://www.medicalvista.jp/jcs\\_dvd](https://www.medicalvista.jp/jcs_dvd) にアクセスしてください。

DVDに収録されている座長・演者名(ご所属)及び演題名もご覧いただけます。

■お問い合わせ先 **株式会社 メディカルビスタ**  
TEL: 0120-046-844 FAX: 03(6368)9509 Mail: jcsdvd@medicalvista.jp

企画著作：一般社団法人 日本循環器学会  
〒604-8172 京都市中京区烏丸通姉小路下る場之町 599 CUBE OIKE 8F  
TEL: 075-257-5830 FAX: 075-213-1675

制作販売受託：株式会社 メディカルビスタ  
〒812-0011 福岡市博多区博多駅前 3-7-35 博多ハイテックビル 5F  
TEL: 092(451)5120 FAX: 092(481)7750

# 第77回日本循環器学会学術集会 DVD-ROMのお申込

価格 1部 ¥5,000 (送料、税込)

## お申込方法

### ① インターネットの場合

日本循環器学会ホームページ (<http://www.j-circ.or.jp>) 「刊行物購入のご案内」から、  
又は、次のURLにアクセスしお申込ください。

**[https://www.medicalvista.jp/jcs\\_dvd](https://www.medicalvista.jp/jcs_dvd)**

### ② FAXの場合

下記お申込書にご記入頂き、**03(6368)9509** まで FAX にてお申込ください。

## お支払方法

### <お申込者個人名の場合>

■銀行振込、■郵便振替、又は■クレジットカード払いの何れかでお支払いください。

お申込受付後、ご指定いただいたお支払い方法についてのご案内をお送り致します。

ご送付先は、E-Mail アドレスのご記入がある場合 E-mail アドレス宛に、E-mail アドレスのご記入がない場合、  
FAX 番号宛にお送りいたします。上記の何れかの方法でお支払いください。

DVDの発送はお支払い確認後、随時対応します。

### <団体又は法人名の場合>

請求書、納品書、領収書等の発行を必要とされる場合、お支払方法のご案内の際お申し出ください。

DVD納品後のお支払いにつきましてもお申し出いただければ可能です。

## 第77回学術集会DVD-ROMのお申込書

(FAX 番号、又は E-mail アドレスのどちらか必ずご記入ください。)

2013年 月 日

フリガナ お名前	申込部数	会員番号
ご所属	お支払方法 <input type="checkbox"/> 銀行振込 <input type="checkbox"/> 郵便振替 <input type="checkbox"/> クレジットカード払い	
ご住所(ご送付先) 〒	<input type="checkbox"/> ご所属先 <input type="checkbox"/> ご自宅	
ご連絡先 TEL :	FAX :	
E-mail アドレス	@	
その他通信欄		

<ご提供いただきます個人情報は、個人情報保護法に準拠して取扱います>



JCS2013

# 第41回 循環器教育セッション

会場：パシフィコ横浜 日時：2013年3月15～17日

発行予定  
6月20日

## DVD-ROM発売!!

DVD購入者はWEBでも視聴いただけます。

価格 **5,000円** (送料、税込)

購入し研修されると専門医研修単位が **3単位** 取得できます。

※単位の付加は、ご購入ご本人様のみに限ります、単位受付は同じタイトルにつき一回限りとなりますのでご了承ください。

お申込みはインターネットまたはFAXでもお申込み頂けます。

日本循環器学会ホームページから、又は、[https://www.medicalvista.jp/jcs\\_dvd](https://www.medicalvista.jp/jcs_dvd) にアクセスしてください。

### <収録内容>

#### 教育セッション I

##### ビデオセッション 1 心臓 CT/MRI の最新動向

学会 1 日目 3月15日 (金) 8:30～12:40

座長：尾崎 行男 (藤田保健衛生大学 循環器内科)  
吉岡 邦浩 (岩手医科大学 放射線科)

演者：佐久間 肇 (三重大学 放射線医学教室)  
高瀬 伸一 (三重大学 中央放射線部)  
安野 泰史 (藤田保健衛生大学 放射線科)  
元山 貞子 (藤田保健衛生大学 循環器内科)

#### 教育セッション I

##### ビデオセッション 2 閉塞性肥大型心筋症に対する PTSM

学会 1 日目 3月15日 (金) 8:30～12:40

座長：一色 高明 (帝京大学)

演者：高山 守正 (榊原記念病院)

#### 教育セッション I

##### ビデオセッション 3 心房細動アブレーションにおける三次元マッピングの活用

学会 1 日目 3月15日 (金) 8:30～12:40

座長：熊谷 浩一郎 (福岡山王病院 ハートリズムセンター)  
沖重 薫 (横浜みなと赤十字病院)

演者：高月 誠司 (慶応義塾大学)  
土谷 健 (EP Expert Team-Tsuchiya)

#### 教育セッション II

##### 冠動脈血行再建術 一診察ガイドラインを実臨床にいかにかかすか？

学会 2 日目 3月16日 (土) 8:30～10:30

座長：落 雅美 (日本医科大学 心臓血管外科)  
住吉 徹哉 (榊原記念病院 循環器内科)

演者：桑原 博道 (仁邦法律事務所)  
松本 晴樹 (厚生労働省保険医療企画調査室)  
夜久 均 (京都府立医科大学 心臓血管外科)  
中川 義久 (天理よろづ相談所病院 循環器内科)  
浅井 徹 (滋賀医科大学 心臓血管外科)  
代田 浩之 (順天堂大学 循環器内科)

#### 教育セッション III

##### 新しい抗凝薬の臨床

学会 3 日目 3月17日 (日) 13:50～15:50

座長：後藤 信哉 (東海大学 循環器内科)  
山下 武志 (心臓血管研究所付属病院)

演者：後藤 信哉 (東海大学 循環器内科)  
草野 研吾 (岡山大学 循環器内科)  
渡邊 英一 (藤田保健衛生大学 循環器内学)  
高橋 尚彦 (大分大学 循環器内科)  
庭野 慎一 (北里大学 循環器内科)  
富田 愛子 (東海大学 循環器内科)

#### ●動作環境

※本 DVD-ROM は DVD-Video プレイヤーでは再生できません。

Windows

Intel Pentium 4 2.33GHz 同等以上のプロセッサ  
256MB RAM (512MB 以上推奨)  
プラットフォーム：  
Windows 2000、Windows XP、Windows Vista、Windows 7  
ブラウザ：  
Microsoft Internet Explorer 6 以降、Firefox 2.x 以降、AOL 9、  
Opera 9.5 以上、Safari 3.x  
1024×768 / 16 ビットのカラービデオディスプレイアダプタ

Macintosh

PowerPC G4 1.25GHz 以上のプロセッサ  
Intel Core Duo 1.33GHz 以上のプロセッサ  
256MB RAM (512MB 以上推奨)  
プラットフォーム：Mac OS X v10.4.x、10.5  
ブラウザ：  
Firefox 2.x 以降、AOL for Mac OS X、Opera 9.5、Safari 3.x  
1024×768 / 16 ビットのカラービデオディスプレイアダプタ

■お問い合わせ先

株式会社 メディカルビスタ

TEL 0120-046-844

FAX: 03(6368)9509

Mail: [jcsdvd@medicalvista.jp](mailto:jcsdvd@medicalvista.jp)

企画著作：一般社団法人 日本循環器学会  
〒604-8172 京都市中京区烏丸通姉小路下る場之町 599 CUBE OIKE 8F  
TEL: 075-257-5830 FAX: 075-213-1675

制作販売受託：株式会社 メディカルビスタ  
〒812-0011 福岡市博多区博多駅前 3-7-35 博多ハイテックビル 5F  
TEL: 092(451)5120 FAX: 092(481)7750

# 第41回 循環器教育セッションDVD-ROMのお申込

価格 1部 ¥5,000 (送料、税込)

## お申込方法

### ① インターネットの場合

日本循環器学会ホームページ (<http://www.j-circ.or.jp>) 「刊行物購入のご案内」から、  
又は、次のURLにアクセスしお申込ください。

**[https://www.medicalvista.jp/jcs\\_dvd](https://www.medicalvista.jp/jcs_dvd)**

### ② FAXの場合

下記お申込書にご記入頂き、**03(6368)9509**までFAXにてお申込ください。

## お支払方法

### <お申込者個人名の場合>

■銀行振込、■郵便振替、又は■クレジットカード払いの何れかでお支払いください。

お申込受付後、ご指定いただいたお支払い方法についてのご案内をお送り致します。

ご送付先は、E-Mail アドレスのご記入がある場合 E-mail アドレス宛に、E-mail アドレスのご記入がない場合、FAX 番号宛にお送りいたします。上記の何れかの方法でお支払いください。

DVDの発送はお支払い確認後、随時対応します。

### <団体又は法人名の場合>

請求書、納品書、領収書等の発行を必要とされる場合、お支払方法のご案内の際お申し出ください。

DVD納品後のお支払いにつきましてもお申し出いただければ可能です。

## 第41回 循環器教育セッションDVD-ROMのお申込書

(FAX 番号、又は E-mail アドレスのどちらか必ずご記入ください。)

2013年 月 日

フリガナ ----- お名前	申込部数	会員番号
ご所属	お支払方法 <input type="checkbox"/> 銀行振込 <input type="checkbox"/> 郵便振替 <input type="checkbox"/> クレジットカード払い	
ご住所(ご送付先) 〒	<input type="checkbox"/> ご所属先 <input type="checkbox"/> ご自宅	
ご連絡先 TEL :	FAX :	
E-mail アドレス	@	
その他通信欄		

<ご提供いただきます個人情報は、個人情報保護法に準拠して取扱います>

# 和文論文投稿誌 **心臓** のご案内

## 論文投稿および購読のお願い

2012年4月(第44巻 第4号)より、「心臓」は  
日本心臓財団と日本循環器学会の共同発行となりました。  
循環器領域の若手研究者を育てる和文投稿を中心に、  
最新のトピックスや研究会など、充実した内容をお届けしています。  
和文論文をぜひ投稿してください。また、本誌をご購読ください。

### 「心臓」

発行：公益財団法人日本心臓財団、一般社団法人日本循環器学会

制作：株式会社協和企画 心臓編集室

発売：株式会社西村書店

定価：2,100円(本体2,000円+税)

年間予約購読料(12冊分) 25,200円(本体24,000円, 送料は負担いたします)

### 編集委員会

山口 徹(編集委員長), 代田浩之(副編集委員長), 磯部光章, 小野 稔, 加藤貴雄,  
木村一雄, 倉林正彦, 佐地 勉, 竹石恭知, 百村伸一, 山科 章, 四津良平



投稿に関するお問い合わせ

(株)協和企画「心臓」編集室

電話・FAX：03-3571-3176

購読の申し込み・お問い合わせ

(株)西村書店 担当：岩永

電話：03-3293-9311

FAX：03-3293-9314

## 事務局からのお知らせ

---

### 学会誌 Circulation Journal の送本について

Circulation Journal は、希望者のみへの送本を実施しております。送本ご不要のお手続きは、以下にて受付けています。

- Fax: 075-213-1675
- E-mail: soumu@j-circ.or.jp
- 日本循環器学会 HP(会員事務手続)

\*対象はCJ 英文誌のみで、会告、ガイドライン誌、循環器専門医誌は、今まで通り全員に送本されます。

\*CJ 送本不要を申し出られた方のみ、送本を停止します。

\*CJ 送本不要でも、年会費に変更はありません。

※なお、CJ では、全掲載論文を Online Journal(J-STAGE)にて無料公開しております。

<http://www.j-circ.or.jp/journal/online%20Journal.htm>

以上

---

英文誌 Circulation Journal の送本は、不要です。

氏 名： \_\_\_\_\_

会員番号： \_\_\_\_\_  
(封筒の宛名ラベル右下に記載の6桁の数字)

年 月 日

(注) 氏名・会員番号は必ずご記入下さい。

## 『循環器病の診断と治療に関するガイドライン2012』内容の誤りについて

『循環器病の診断と治療に関するガイドライン2012』（2013年1月25日発行）に掲載の「小児期心疾患における薬物療法ガイドライン」において内容に誤りがございましたので下記のとおり訂正いたします。

ページ	段	行	誤	正
121ページ	右段	2行目	アンジオテンシンII受容体拮抗薬	アンジオテンシン変換酵素阻害薬
121ページ	右段	26行目	小児に関しては	小児では
121ページ	右段	31～32行目	【31行目の後に右記の文章を追加】	投与方法に関しては1日1回投与よりも2回投与の方が血行動態の変化はないものの、心不全予後規定因子の一つであるノルエピネフリン値が低下することが報告されている。
121ページ	右段	32行目	レニン・アルドステロン系に作用する薬物	アンジオテンシンII受容体拮抗薬
122ページ	左段	21～24行目	投与方法に関しては1日1回投与よりも2回投与の方が血行動態の変化はないものの、心不全予後規定因子の一つであるノルエピネフリン値が低下することが報告されている。	【左記の文章を削除】
122ページ	右段	4行目	回復こと	回復すること
122ページ	右段	23行目	ACEI	ACE-I
123ページ	左段	18行目	4 カテコラミン	参考 カテコラミン

### 〈住所／勤務先変更の届出について〉

毎月の「CJ」や各地方会の開催案内、プログラム等を確実にお手許にお届けできるよう、適時、住所／勤務先変更の届出をお願いしております。

ホームページ(<http://www.j-circ.or.jp/>)より、会員限定ページにて変更登録をお願い致します。または、当会告末尾の「登録事項変更届」をご利用ください。

なお、学会活動や医療情報などに関する重要なお知らせをEメールで発信する機会が増えておりますので、可能な限りEメールアドレスをお届け下さいますようお願い致します。

### 〈会員限定 HP へのアクセス等について〉

- UMIN(大学病院医療情報ネットワーク)のIDを利用しての会員のみのアクセス制限をしております。
- 新規ご入会の先生につきましては、当学会にてUMINIDの取得申請を代行しております。ご入会手続き後にUMINIDが取得次第、順次IDと仮パスワードを郵送致します。
- UMINメールアドレスにつきましては、各先生方のID@umin.ac.jpにてご利用いただけます。電子メールソフトの設定の詳細はUMINホームページ(<http://www.umin.ac.jp/>)をご確認ください。

### ● 学会に関する問い合わせは下記事務局までご連絡下さい。

(一社)日本循環器学会

○京都事務局(代表・学術集会・専門医・編集・国際交流)

〒604-8172 京都府京都市中京区烏丸通姉小路下る場之町599 CUBE OIKE 8F

TEL: 075-257-5830 / FAX: 075-213-1675

○東京事務所(総務・経理・情報広報・BLS / ACLS・禁煙等)

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-1 帝国ホテルタワー18F

TEL: 03-5501-0861 / FAX: 03-5501-9855

各事務担当のメールアドレスのご案内	
代 表	admin@j-circ.or.jp
総務(登録事項変更・退会等)	soumu@j-circ.or.jp
経理(各請求書・年会費等)	keiri@j-circ.or.jp
学術集会・ガイドライン関連	meeting@j-circ.or.jp
専 門 医	senmoni@j-circ.or.jp
編集(Circulation Journal 関連)	cj@j-circ.or.jp
情報広報(購読・HP・入会・地方会)	webmaster@j-circ.or.jp
BLS / ACLS 事業関連	itc@j-circ.or.jp
禁 煙	nonsmoking@j-circ.or.jp
国際交流	international@j-circ.or.jp
国内交流	kokunai@j-circ.or.jp
ホームページ URL	<a href="http://www.j-circ.or.jp/">http://www.j-circ.or.jp/</a>

一般社団法人 日本循環器学会

## 登録事項変更届

[ホームページからもお届けが可能です]

TEL (03) 5501-0861

FAX (03) 5501-9855

E-mail: soumu@j-circ.or.jp

ホームページ : <http://www.j-circ.or.jp/>

会員番号 :	【6桁】	生年月日 : 19	年	月	日 ( 歳)
フリガナ :					
会員氏名 :					
(旧姓名 : )					
勤務先 :					
名 称					
部・科					役 職
所在地 〒	—				
代 表 TEL ( )	—	FAX ( )	—		
内線					
直 通 TEL ( )	—	FAX ( )	—		
旧勤務先名称 :					
自 宅 : 〒 —					
TEL ( ) — FAX ( ) —					
旧自宅住所 :					
E-mail :					
変更希望日 :	年	月	日	変更	送本先(連絡先) : <input type="checkbox"/> 勤務先 <input type="checkbox"/> 自宅
英文誌 Circulation Journal の送付を : <input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない					
退 会 届【退会希望者のみ記入】					
年 月 日をもって退会します。 / 退会事由 :					
事務局への通信欄 :					

\*ご提供いただきました個人情報は、学会サービスの提供その他本会の事業目的に沿って行う活動およびこれに付随する業務を行う目的の範囲内においてのみ利用させていただきます。

\*重要なお知らせを E-mail でお届けする機会が増えております。ぜひメールアドレスをご登録ください。

会員の皆様へ

## 勤務医師賠償責任保険 通年受付をスタートします

当学会で運営しております「勤務医師賠償責任保険 団体保険制度」につきまして、平成 25 年 3 月より、1 年を通じていつでもご希望の時期にご加入いただけるよう、制度を改定いたしました。  
(従来は年に 1 回の募集時期のみ加入可能でした)

本制度は、当学会の会員専用の団体割引 20%が適用されるなど、一般で加入するよりも有利な内容となっております。是非ともご利用くださいますようお願い申し上げます。

### 本制度の特長

- 特長① 支払限度額 2 億円の高額補償 (1 億円タイプもご用意しています)
- 特長② 免責金額 (自己負担額) なし
- 特長③ 団体割引 20%を適用

### 本制度の概要

1. 保険の内容 : 勤務医師賠償責任保険
2. 加入資格 : ①日本循環器学会の会員の皆様に限ります。  
②勤務医師を対象とする保険です。(開業医の皆様は対象となりません)
3. 保険期間 : 平成 24 年 8 月 1 日午後 4 時～平成 25 年 8 月 1 日午後 4 時
4. 引受保険会社 : 株式会社損害保険ジャパン
5. 取扱代理店 : 株式会社カイトー

### 保険金額と保険料

毎月 20 日までにお手続きいただきますと、翌月 1 日から補償が開始します。  
ご加入の時期により保険料が異なりますのでご注意ください。

型名		200 型	100 型
補償内容	保険金額 (対人支払限度額)	1 事故につき 2 億円 保険期間中 6 億円	1 事故につき 1 億円 保険期間中 3 億円
	自己負担額	なし (0 円)	なし (0 円)
保険料	3 月 1 日補償開始 (5 ヶ月間)	22,010 円	16,940 円
	4 月 1 日補償開始 (4 ヶ月間)	17,610 円	13,550 円
	5 月 1 日補償開始 (3 ヶ月間)	13,210 円	10,170 円
	6 月 1 日補償開始 (2 ヶ月間)	8,800 円	6,780 円
	7 月 1 日補償開始 (1 ヶ月間)	4,400 円	3,390 円

※今年度の保険期間は、平成 25 年 8 月 1 日午後 4 時に終了いたします。

※平成 25 年 8 月 1 日以降のご契約は、保険料口座振替をご利用いただくことができます。口座を事前にご指定いただくと、更新時に保険料が自動引落としされますので、毎年の手続きが不要です。

### お申込み・資料請求

本制度取扱代理店 (株)カイトーにご連絡ください。詳細な資料とお手続きのご案内を差し上げます。

株式会社カイトー ドクター営業部 担当: 鎌倉 久美子  
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 7-2-6  
TEL: 03-3369-8811 (受付時間: 平日/午前 8 時 50 分～午後 5 時 20 分)  
FAX: 03-3369-3120 e-mail: med.lia-ins@kaito.co.jp URL: www.kaito.co.jp

本ページは保険の概要を説明したものです。詳しい内容については、取扱代理店までお問い合わせください。